

2019年度

総合歯科医学VI 授業計画表

〔シラバス〕



鶴見大学歯学部

総合歯科医学Ⅵ

学 年	科目分類	前期・後期	単 位
第6学年	必修	前・後期	10単位

一般目標

臨床実習での経験と学んできた臨床と基礎の知識を統合し、歯科医師として総合的な医療を行うために、歯学部での5年間の学習を振り返り、再整理を行い、社会に求められる歯科医師として必要な問題解決能力を修得する。

評価方法

学科目期間中に客観試験を複数回実施し評価する。客観試験は多肢選択方式とする。

評価基準

必修問題、一般問題、臨床実地問題の得点を基に基準を定め、その基準を満たしたものを合格とする。基準は、本学科目開始時に学生に公表する。

も く じ

	ページ		ページ
口腔解剖学	1	口腔顎顔面外科学	35
解剖・組織細胞学	3	口腔内科学	39
生理学	4	歯科麻酔学	48
分子生化学	6	口腔顎顔面放射線画像診断学	51
口腔微生物学	8	歯科矯正学	55
病理学	10	小児歯科学	59
薬理学	13	高齢者歯科学	61
歯科理工学	15	法医歯学	64
保存修復学	18	口腔衛生・地域歯科保健	66
歯周病学	22	衛生・探索歯学	68
歯内療法学	25	障害者歯科	70
全部床義歯補綴学	27	インプラント	72
部分床義歯補綴学	29	内科学	73
クラウンブリッジ補綴学	32	倫理・一般教養的事項	74

総合歯科医学Ⅵ（口腔解剖学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口腔解剖 1	田中 秀	歯・口腔・顔面の発生・成長・発育	口腔および歯・歯周組織の形成と歯の萌出	初期発生 歯の硬組織形成 歯周組織形成 歯の萌出	①口腔の発生について説明する。 ②歯の形成と萌出について説明する。 ③歯周組織の発生について説明する。 ④歯の萌出について説明する。
口腔解剖 2	田中 秀	歯・歯周組織の構造	組織と性状	硬組織 歯髄 歯周組織	①エナメル質、象牙質、セメント質の構造について説明する。 ②歯髄の構造について説明する。 ③歯根膜（歯周靭帯）の構造について説明する。 ④歯槽骨の構造について説明する。 ⑤歯肉の構造について説明する。
口腔解剖 3	田中 秀				
口腔解剖 4	田中 秀				
口腔解剖 5	塩崎一成				
口腔解剖 6	田中 秀				
口腔解剖 7	塩崎一成	頭頸部の構造	頭頸部の骨格系	頭蓋	①頭蓋の形態と構造を説明する。 ②個々の頭蓋骨の形態と構造を説明する。 ③頸椎の形態と構造を説明する。
口腔解剖 8	塩崎一成			頭蓋骨・頸椎	
口腔解剖 9	塩崎一成		頭頸部の筋系	頭部の筋群 頸部の筋群	①表情筋について構造と機能を説明する。 ②咀嚼筋について構造と機能を説明する。 ③舌筋について構造と機能を説明する。 ④舌骨上筋および舌骨下筋について構造と機能を説明する。 ⑤咽頭および喉頭の筋について構造と機能を説明する。
口腔解剖 10	塩崎一成				
口腔解剖 11	下田信治	歯と歯周組織の構造	歯の形態	基本事項 乳歯 永久歯 特殊な形態	①全歯種について歯冠、歯根、歯頸線、根管形態の特徴と形態の推移を説明する。 ②同一歯種内の順位による形態の推移について説明する。 ③歯の特殊な形態および異常を説明する。
口腔解剖 12	下田信治	歯・口腔・顔面の発生・成長・発育	加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化	顎関節の変化	①顎関節の発生について説明する。 ②顎関節の形態と構造における加齢変化を説明する。

指導教員：下田信治、塩崎一成、田中 秀

参考書：「カラーアトラス口腔組織発生学」

磯川桂太郎 ほか 編著	わかば出版	¥9,975 (税込)
ISBN : 978- 4 -89824-046- 5 C3047		
「口腔組織・発生学」 脇田 稔 ほか 著	医歯薬出版	¥10,000 + 税
ISBN : 4 -263-45600- 9 C3047		
「人体解剖学」 著者：藤田恒夫	出版社：南江堂	¥9,500 + 税
ISBN : 978- 4 -524-24237- 5		
「ぜんぶ分かる骨の名前と仕組み辞典」		
監修：山田敬喜、肥田岳彦	成美堂出版	¥1,400 + 税
ISBN : 978- 4 -415-31001- 5		
「口腔解剖学」 監修：脇田稔、井出吉信	医歯薬出版	¥12,000 + 税
ISBN : 978- 4 -263-45810- 5		
「口腔顎顔面解剖学ノート」		
井出吉信 ほか 編著	学建書院	¥3,000 + 税
ISBN : 978- 4 -7624-0687- 4		
「歯の解剖学」 藤田恒太郎 原著	金原出版	¥5,913 (税込)
ISBN : 978- 4 -307-45007- 2		
「歯の見分け方」 下田信治著	学建書院	¥1,200 + 税
ISBN : 978- 4 -7624-0688- 1		

総合歯科医学Ⅵ（解剖・組織細胞学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
解剖・組織 1	原矢委子	人体の正常構造・機能	頭部の脈管系	脈管系（動脈系、静脈系、リンパ系）	①頭頸部の構造を説明する。 ②頭頸部の血管系を説明する。
解剖・組織 2	原矢委子	人体の正常構造・機能	頭頸部の神経系	神経系（脳神経、脊髄神経）	①頭頸部の構造を説明する。 ②頭頸部の末梢神経系を説明する。
解剖・組織 3	黒田範行	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	細胞 組織 口腔と関連臓器	①細胞に関する基礎知識の確認 ②組織に関する基礎知識の確認 ③口腔と関連臓器に関する基礎知識の確認 ④発生に関する基礎知識の確認
解剖・組織 4	黒田範行	人体の正常構造・機能	呼吸器・循環器系 消化器系 造血器系		器官系の基本構造と機能を説明する。
解剖・組織 5	原矢委子	人体の正常構造・機能	内分泌器系		器官系の基本構造と機能を説明する。
解剖・組織 6	原矢委子	人体の正常構造・機能	口腔・顎顔面の成長・発育	細胞・組織・臓器の加齢現象	一般組織の加齢について説明する。
解剖・組織 7	黒田範行	人体の正常構造・機能	泌尿器・生殖器系 神経系		器官系の基本構造と機能を説明する。
解剖・組織 8	黒田範行	口腔・顎顔面の発生・成長・発育	頭頸部の形成	鰓弓（咽頭弓） 顎顔面 舌、唾液腺	①口腔諸構造を構成する組織を説明する。 ②口腔の発生過程の基礎知識を説明する。 ③鰓弓とこれらから由来する器官について説明する。

指導教員：黒田範行、原矢委子

参考書：「人体解剖学」 著者：藤田恒夫 出版社：南江堂 ￥9,500 + 税
ISBN：978-4-524-24237-5
「口腔顎顔面解剖学ノート」
井出吉信 ほか 編著 学建書院 ￥3,000 + 税
ISBN：978-4-7624-0687-4

総合歯科医学Ⅵ（生理学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
生理 1	大貫芳樹 他2名	細胞 血液・体液	A. 細胞 B. 血液・体液	Aa. 細胞膜 Ab. 膜タンパク Ac. 細胞小器官 Ba. 血液 Bb. 体液	①細胞膜について説明する。 ②膜タンパクの機能について説明する。 ③細胞小器官の働きについて説明する。 ①血球の生成と処理について説明する。 ②血液の働きについて説明する。 ③細胞外液と内液について説明する。 ④体液の移動と脱水、浮腫について説明する。
生理 2	大貫芳樹 他2名	内分泌系	A. 内分泌	Aa. ホルモン Ab. 分泌調節 Ac. ストレス	①ホルモンの作用について説明する。 ②ホルモンの分泌調節について説明する。 ③ストレス時の生体反応について説明する。
生理 3	本谷安正 他2名	神経系	A. 末梢神経 B. 中枢神経	Aa. 体性神経 Ab. 自律神経 B. 中枢神経	①体性神経について説明する。 ②自律神経及びその機能について説明する。 ①脊髄の機能について説明する。 ②脳幹の機能について説明する。 ③大脳の機能について説明する。
生理 4	本谷安正 他2名	感覚	A. 体性感覚 B. 特殊感覚	Aa. 体性感覚 Ab. 口腔体性感覚 B. 特殊感覚	①体性感覚について説明する。 ②歯痛等の口腔感覚について説明する。 ①特殊感覚について説明する。 ②味覚、嗅覚について説明する。
生理 5	大貫芳樹 他2名	循環・呼吸	A. 循環 B. 呼吸	Aa. 心臓 Ab. 血圧 Ba. 呼吸運動 Bb. ガス交換	①心臓の機能について説明する。 ②心電図について説明する。 ③血圧とそれに及ぼす要因について説明する。 ①呼吸運動について説明する。 ②呼吸運動調節の機序について説明する。 ③外・内呼吸におけるガス交換について説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
生理 6	大貫芳樹 他2名	消化機能・ 排泄系・加 齢	A. 消化機能 B. 排尿 C. 加齢	Aa. 消化管の構造と 機能 Ab. 栄養素の吸収 Ac. 排便 B. 排尿 Ca. 全身領域の加齢 Cb. 口腔領域の加齢	①消化管の構造と機能について説明 する。 ②三大栄養素の吸収と運搬について 説明する。 ③排便反射について説明する。 ①尿生成・蓄尿・排尿機能について 説明する。 ①内分泌・循環器・呼吸器・泌尿器・ 神経系・運動系・感覚系の加齢に ついて説明する。 ②咀嚼・嚥下・口腔体性感覚・味覚・ 唾液の加齢について説明する。
生理 7	本谷安正 他2名	口腔機能Ⅰ	A. 唾液 B. 顎反射 C. 咀嚼	Aa. 唾液腺 Ab. 唾液の性状・機 能 B. 顎反射 C. 咀嚼	①唾液腺について説明する。 ②唾液の性状・成分・分泌機序につ いて説明する。 ①顎反射の機序について説明する。 ①咀嚼の過程・機序、咀嚼能率につ いて説明する。
生理 8	本谷安正 他2名	口腔機能Ⅱ	A. 嚥下・嘔吐 B. 発声	Aa. 嚥下 Ab. 嘔吐 Ba. 声帯と発声 Bb. 構音	①嚥下の機序について説明する。 ②嘔吐の機序について説明する。 ①発声機構について説明する。 ②構音について説明する。
生理 9	塩澤光一 他2名	総まとめⅠ	国家試験 必修・一般問題 対策 1	A. 生体の機能	①体液量、体液成分の調節について 説明する。 ②血圧調節について説明する。 ③体温調節について説明する。 ④ホルモンを用いた調節について説 明する。 ⑤自律神経を用いた調節について説 明する。 ⑥運動時の神経調節について説明す る。
生理 10	塩澤光一 他2名	総まとめⅡ	国家試験 必修・一般問題 対策 2	A. 生体の機能	①顎運動について説明する。 ②口腔機能について説明する。 ③全身および口腔領域の加齢変化に ついて説明する。

指導教員：塩澤光一、奥村 敏、大貫芳樹、本谷安正、吹田憲治

参考書：「スタディ生理学・口腔生理学」第3版

監修：奥村 敏 / 著：塩澤光一 永末書店 ￥4,860

ISBN 978-4-8160-1338-6

総合歯科医学Ⅵ（分子生化学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
生化1	山越康雄	人体の正常構造・機能	生体構成成分の構造・機能	タンパク質 糖 脂質	①タンパク質の構造・特徴を説明する。 ②糖質の構造・特徴を説明する。 ③脂質の構造・特徴を説明する。
生化2	山越康雄	人体の正常構造・機能	細胞・細胞内小器官の機能	三大栄養素の消化・吸収・代謝 細胞内区画化	①三大栄養素の消化・吸収を説明する。 ②ヒトの代謝を理解する。 ③代謝と細胞内小器官の関係を説明する。
生化3	山越康雄	人体の正常構造・機能	生体構成成分の構造・機能 ゲノム・ 遺伝子・染色体	核酸 ゲノム 遺伝子 染色体の形成と構造 染色体異常	①核酸の構造を説明する。 ②ゲノムおよび遺伝子を説明する。 ③染色体の構造を説明する。
生化4	山越康雄	人体の正常構造・機能	細胞・細胞内小器官の機能	タンパク質の生合成 セントラルドグマ 複製 転写	①セントラルドグマを説明する。 ②タンパク質の生合成過程・複製を説明する。 ③タンパク質の生合成過程・転写を説明する。
生化5	山越康雄	人体の正常構造・機能	細胞・細胞内小器官の機能	タンパク質の生合成 翻訳 細胞分裂 遺伝子疾患の機序	①タンパク質の生合成過程・翻訳を説明する。 ②細胞分裂を説明する。 ③遺伝子疾患の機序を説明する。
生化6	山越康雄	歯と歯周組織の構造	組織と性状	コラーゲン 非コラーゲン性タンパク	①コラーゲンの生合成過程を説明する。 ②硬組織の非コラーゲン性タンパクを説明する。
生化7	山越康雄	口腔・顎・顔面 頭頸部の機能	唾液分泌	唾液の成分	①唾液の有機成分を説明する。 ②唾液の無機成分を説明する。
生化8	山越康雄	人体の正常構造・機能	全身・口腔の生態系	プラーク 菌体外多糖	①プラークの代謝を理解する。 ②菌体外多糖の生成を理解する。 ③口臭原因物質の生成を理解する。
生化9	山越康雄	検査・臨床判断の基本	一般的な生化学検査	糖代謝関連物質 脂質代謝関連物質 タンパク質	①生化学臨床検査項目の数値単位を説明する。 ②生化学臨床検査項目の正常値を説明する。 ③異常値の機序を説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
生化10	山越康雄	検査・臨床判断の基本	一般的な生化学検査	含窒素成分 生体色素（ビリルビン） 微量元素 血清酵素検査	①生化学臨床検査項目の数値単位を説明する。 ②生化学臨床検査項目の正常値を説明する。 ③異常値の機序を説明する。

指導教員：山越康雄

参考書：「ベーシック生化学」 畑山巧 編著、化学同人 ￥4,200（税込）

ISBN：978-4-7598-1176-6

「口腔生化学第6版」 早川太郎・須田立男監修 山越康雄、他、著
医歯薬出版 ￥10,260（税込）

ISBN：978-4-263-45822-8

備考：プリントを配布し、それをういた板書中心の講義を行う。

2年次の講義ノート、補講プリントも参照すること。

総合歯科医学Ⅵ（口腔微生物学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
微生物 1	大島朋子	感染	A. 総論 B. 感染の概念 C. 感染成立に関わる因子 D. 感染の種類	微生物とは 感染と発症 感染経路 宿主の感受性 寄生体の病原性 病原微生物 日和見感染 院内感染 菌交代症 菌血症・敗血症 病巣感染 食中毒（毒素型、感染型） 新興・再興感染症	①微生物の基本的事項を説明する。 ②感染と発症の違いを説明する。 ③（感染成立に関わる）宿主側の因子を説明する。 ④感染経路を説明する。 ⑤寄生体の病原性を説明する。 ⑥病原微生物と常在微生物を説明する。 ⑦感染の種類を説明する。 ⑧食中毒の種類を説明する。 ⑨新興・再興感染症を説明する。
微生物 2	大島朋子	口腔生態系	口腔環境 常在微生物	口腔環境の特殊性 口腔常在微生物叢 ペリクル プラーク（歯垢） 歯肉溝滲出液 歯肉縁下プラーク	①微生物の口腔環境適応性を説明する。 ②口腔の生態系について説明する。 ③ヒトと常在微生物の関わりについて説明する。 ④プラーク（歯垢）について説明する。 ⑤歯肉縁下プラークの特性を説明する。
		口腔感染症	A. う蝕 B. 歯周病 C. その他	う蝕原性細菌 歯内-根尖歯周組織の感染症 歯周病原性細菌 口腔カンジダ症 顎放線菌症 結核 梅毒	①う蝕原性細菌の特徴を説明する。 ②う蝕病原性を説明する。 ③歯内-根尖歯周組織の感染症について説明する。 ①歯周病の分類と原因細菌について説明する。 ②歯周病と免疫の関わりを説明する。 ③歯周病原細菌の病原因子を説明する。 ①口腔カンジダ症の原因真菌の病原因子を説明する。 ②顎放線菌症の成り立ちを説明する。 ③口腔内の結核の特徴を説明する。 ④口腔内の梅毒の特徴を説明する。
微生物 3	大島朋子	ウイルス感染症	A. 総論 B. 各論	ウイルスとは ウイルス感染症の特徴 予防法と治療法 RNAウイルス各論 DNAウイルス各論	①歯科医にとって重要なウイルス感染症を説明する。 ②予防法と治療法を説明する。 ③口腔領域に症状が見られるウイルス感染症を説明する。 ④歯科診療上注意が必要なウイルス感染症を説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
微生物 4	高尾亞由子	院内感染対策	A. 感染症化学療法	抗菌薬 抗真菌薬 抗菌薬の作用機序 耐性 副作用（有害事象）	①各種抗菌薬と抗真菌薬の種類と作用機序を説明する。 ②各種抗菌薬と抗真菌薬の耐性を説明する。 ③各種抗菌薬と抗真菌薬の副作用を説明する。
			B. 滅菌 C. 消毒	滅菌法の原理と適用 消毒薬の作用機序と適用	④滅菌法の原理と適用について説明する。 ⑤消毒薬のランクと適用を説明する。
微生物 5	大島朋子	免疫	A. 免疫系の分類	自然免疫と獲得免疫 粘膜免疫	①免疫応答の成り立ちの特性について説明する。 ②自然免疫について説明する。 ③獲得免疫について説明する。 ④粘膜免疫の特殊性について説明する。
			B. 免疫系の構成 C. 免疫寛容	免疫関連臓器 免疫関連細胞 自己寛容	①中枢および末梢免疫関連臓器について説明する。 ②免疫関連細胞を分類し説明する。 ③免疫における自己寛容の成立について説明する。
			D. 免疫系の機能	体液性免疫 細胞性免疫 サイトカイン	①体液性免疫の仕組みを説明する。 ②細胞性免疫の特性を説明する。 ③サイトカインを列挙し分類する。
			E. アレルギー	アレルギー性疾患	①アレルギー反応を分類し説明する。 ②アレルギー性疾患を列挙する。
			F. 免疫異常	免疫不全症 自己免疫性疾患	①免疫不全症を分類し説明する。 ②自己免疫性疾患を分類し説明する。

指導教員：大島朋子、高尾亞由子

参考書：口腔微生物学－感染と免疫－第5版

ISBN：978-4-7624-3654-3（本体8,500円＋税）

総合歯科医学Ⅵ（病理学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
病理 1	松本直行	病因と病態	1 細胞傷害、組織傷害及び萎縮 2 修復と再生	1 a 萎縮 1 b 変性 1 c アポトーシス 1 d 壊死 2 a 肥大 2 b 過形成 2 c 化生 2 d 再生	1 ①細胞傷害と組織傷害を説明できる。 1 ②変性と関連疾患の病態を説明できる。 1 ③疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 1 ④萎縮と仮性肥大を説明できる。 2 ①修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 2 ②肥大と過形成を説明できる。 2 ③化生を説明できる。 2 ④創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 2 ⑤器質化を説明できる。
病理 2	松本直行	病因と病態	1 循環障害 2 口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患	1 a 虚血 1 b 充血 1 c うっ血 1 d 出血 1 e 血栓 1 f 塞栓 1 g 梗塞 1 h 浮腫 1 i ショック 2 a 貧血 2 b 出血性素因 2 c 白血病	1 ①虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 1 ②出血の原因、種類及び転帰を説明できる。 1 ③血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 1 ④梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 1 ⑤浮腫の原因と転帰を説明できる。 1 ⑥ショックの成因と種類を説明できる。 2 ①口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）を説明できる。
病理 3	松本直行	病因と病態	炎症		①炎症の定義と機序を説明できる。 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 ③滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。 ④肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
病理 4	松本直行	病因と病態	1 腫瘍（総論） 2 骨・軟部組織および造血器の腫瘍	1 a 腫瘍の定義と分類 1 b 腫瘍の発生様式と進展様式 2 a 骨軟骨腫瘍および骨関連病変 2 b 軟組織腫瘍 2 c 造血器系腫瘍	1 ①腫瘍の定義を説明できる。 1 ②腫瘍の病因を説明できる。 1 ③腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 1 ④良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 1 ⑤腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。 2 ①顎骨内の非歯源性腫瘍の病理組織像を説明できる。 2 ②軟組織腫瘍の病理組織像を説明できる。 2 ③造血器系腫瘍を説明できる。
病理 5	松本直行	口腔・顎顔面領域の常態と疾患	腫瘍及び腫瘍類似疾患		①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な特徴、診断法（細胞診、組織診）を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な特徴、診断法（細胞診、組織診）を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。
病理 6	松本直行	口腔・顎顔面領域の常態と疾患	口腔粘膜疾患		①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 ②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患を説明できる。 ③口腔潜在的悪性疾患の種類と特徴を列挙できる。
病理 7	松本直行	口腔・顎顔面領域の常態と疾患	歯源性腫瘍	a. 歯源性腫瘍の臨床病態 b. 歯源性上皮由来 c. 歯源性上皮＋歯源性外胚葉性間葉由来 d. 歯源性外胚葉性間葉由来	①歯源性腫瘍の種類と特徴、症状および診断法を概説できる。
病理 8	松本直行	口腔・顎顔面領域の常態と疾患	唾液腺腫瘍	a. 良性腫瘍 b. 悪性腫瘍	①唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状および診断法を概説できる。
病理 9	松本直行	口腔・顎顔面領域の常態と疾患	口腔領域の嚢胞	a. 歯源性嚢胞 b. 非歯源性嚢胞	①口腔・顎顔面に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状および診断法を説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
病理 10	松本直行	口腔・顎顔面領域の常態と疾患	1 病理検査概論 2 唾液腺疾患	1 a 病理組織学検査、細胞診 2 a 唾石 2 b 粘液嚢胞 2 c 唾液腺炎	1 ①病理組織学検査の種類、方法を説明できる。 2 ①唾石症の特徴および診断法を説明できる。 2 ②唾液腺炎の種類と特徴を概説できる。 2 ③唾液腺炎について説明できる。 2 ④流行性耳下腺炎の特徴を説明できる。 2 ⑤腫瘍類似疾患を概説できる。 2 ⑥ウイルス性唾液腺炎の特徴、症状および診断法を説明できる。 2 ⑦Sjögren症候群の特徴、症状および診断法を説明できる。

指導教員：松本直行

参考書：「ロビンス基礎病理学 原書10版」

Vinay Kumar 他（著）	丸善出版；原書10版	2018年
「標準病理学 第5版」		
坂本穆彦（監修）	医学書院；第5版	2015年
「病理学総論にもとづく口腔病理学」		
井上孝・田中昭男・長谷川博雅 編集主幹	永末書店；第2版	2018年
「新口腔病理学」 下野正基・高田隆・田沼順一・豊澤悟 編著	医歯薬出版；第2版	2018年

参考URL：「口腔病理基本画像アトラス」 日本臨床口腔病理学会 編
<http://www.jsop.or.jp/atlas/>

総合歯科医学Ⅵ（薬理学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
薬理 1,2	二藤 彰 柴田達也 中島和久	歯科医学総論Ⅶ 8 薬物療法	ア薬物の選択 イ用法・用量	a 薬物療法の種類と特徴 c 薬物動態 a 投与経路と剤形の種類と特徴 b 用量と反応 e 薬物適用の注意 薬効に影響を及ぼす要因	①薬物療法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態（薬物の吸収、分布、代謝、排泄）を説明できる。 ③薬物の投与経路および剤型の種類と特徴を説明できる。 ④薬物の用量と反応の関係を説明できる。
薬理 3,4	二藤 彰 柴田達也 中島和久	歯科医学総論Ⅶ 8 薬物療法 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療	ア薬物の選択 イ保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ウ臨床試験・治療と倫理 ク医薬品・医療機器による健康被害 ケ血液・血液製剤の安全性 コ診療録、診療情報の記録と管理	b 薬効 薬物の作用部位・作用機序 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律（薬機法） b GCP<医薬品の臨床試験の実施基準> a 副作用・有害事象への対応（報告義務、治療、補償） a 保管、管理 a 処方せんの管理・保存	①薬物の作用部位・作用機序を説明できる。 ①薬機法について説明できる。 ②医薬品の表示と管理方法を説明できる。 ③GCP省令に基づいた臨床試験のルールを説明できる。 ④臨床試験の流れを説明できる。 ⑤薬害の例をあげ、発生の背景を説明できる。 ⑥医薬品の副作用による健康被害の報告制度と救済制度を説明できる。 ⑦血液製剤の安全性確保のための対策を説明できる。 ⑧処方せんの交付義務を定めた法律、処方せんの保存期間と記載事項について説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
薬理 5.6	二藤 彰 柴田達也 中島和久	歯科医学総論Ⅶ 8 薬物療法	ウ疾患に応じた 薬物治療	a 鎮痛薬 b 抗炎症薬 c 抗感染症薬 d 抗腫瘍薬 e 代謝改善薬、 ビタミン f 止血薬、抗血 栓薬	①解熱鎮痛薬、麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬の例をあげ作用機序、適用する疾患、副作用を説明できる。 ②非ステロイド性抗炎症薬の例をあげ、作用機序、適用する疾患、副作用を説明できる。 ③副腎皮質ステロイド薬の例をあげ、作用機序、適用する疾患、副作用を説明できる。 ④抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬の例をあげ、作用機序、適用菌種、副作用を説明できる。 ⑤消毒薬の例をあげ、特徴と使用上の注意を説明できる。 ⑥抗悪性腫瘍薬の例をあげ、作用機序、適用する疾患、副作用を説明できる。 ⑦治療薬としてのビタミンの作用機序、適用する疾患、副作用を説明できる。 ⑧ビスホスホネートの作用機序と関連顎骨壊死を説明できる。 ⑨ビスホスホネート以外の骨粗鬆症治療薬をあげ、その特徴を説明できる。 ⑩全身性止血薬と局所性止血薬を分類し、使用上の注意を説明できる。 ⑪血小板凝集抑制薬と抗凝血薬の作用機序、適用する疾患、副作用を説明できる。
薬理 7.8	二藤 彰 柴田達也 中島和久	歯科医学総論Ⅶ 8 薬物療法	イ用法・用量	c 服薬計画・指導 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策 e 薬物適用の注意	①服薬率を良好に維持するために必要な要件を説明できる。 ②口腔に副作用を現す薬物を列挙できる。 ③歯科で使用する薬物の副作用を列挙できる。 ④薬物が副作用を現す機序を説明できる。 ⑤薬物適用の禁忌を説明できる。 ⑥小児、妊婦、高齢者に薬物を適用する上での注意事項を説明できる。
薬理 9.10	二藤 彰 柴田達也 中島和久	歯科医学総論Ⅶ 8 薬物療法 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療			これまでの内容を総括し確認する。

指導教員：二藤 彰、柴田達也、中島和久

参考書：解る 歯科薬理学 第2版 第3刷

編集 坂上 宏、二藤 彰、浜田節男、李 昌一 学建書院 ￥6,300 (税込み)

ISBN：978-4-7624-1664-4

総合歯科医学Ⅵ（歯科理工学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
理工 1-1	野本理恵	印象材	非弾性印象材 弾性印象材 A. ハイドロコロイド印象材 B. 合成ゴム系印象材 印象材の性質	石膏、インプレッションコンパウンド、ワックス、酸化亜鉛ユージノール印象材 寒天印象材、アルジネート印象材 付加型シリコンゴム印象材、縮合型シリコンゴム印象材、ポリサルファイドゴム印象材、ポリエーテルゴム印象材 細部再現性、弾性ひずみと永久ひずみ、応力緩和	①各種印象材の組成、硬化機構および特徴を説明する。 ②弾性ひずみと永久ひずみについて説明する。 ③寸法安定性について説明する。
理工 1-2	野本理恵	合着・接着・仮着材	セメント 接着性レジンセメント セメントの性質	リン酸亜鉛セメント、ポリカルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメント、酸化亜鉛ユージノールセメント、EBAセメント 粉液比、稠度、硬化時間、機械的性質、被膜厚さ	①各種セメントの組成と硬化反応を説明する。 ②各種セメントの特徴を説明する。 ③セメントの粉液比と硬化時間・機械的性質・被膜厚さとの関係を説明する。
理工 1-3	野本理恵	生体材料の科学	材料の素材 材料の物性 A. 物理的性質 B. 機械的性質 C. 化学的性質 D. 生物学的性質と生体安全性	有機材料、高分子材料、無機材料、セラミック材料、金属材料、複合材料 密度、熱膨張係数、熱伝導率、比熱 応力、ひずみ、弾性係数、強さ、耐力、降伏点、レジリエンス、靱性、展延性、硬さ、耐摩耗性、疲労、衝撃強さ、クリープ 吸水、溶解、腐食 生体親和性、毒性、アレルギー	①有機材料、無機材料、高分子材料、セラミック材料、金属材料、複合材料の特徴を説明する。 ②応力-ひずみ線図を説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
理工 1-4	野本理恵	シーラント	グラスアイオノマー系シーラント レジン系シーラント		①各種シーラントの組成、硬化反応および特徴を説明できる。 ②根管充填材の種類、組成および特徴を説明できる。
		根管充填材	固形根管充填材 根管用セメント	ガッタパーチャポイント 酸化亜鉛ユージノールセメント	
理工 2-1	野本理恵	義歯用材料	義歯床用レジン	加熱重合型アクリルレジン、 常温重合型アクリルレジン、 射出成形レジン	①義歯床用レジンと関連材料を理解する。 ②各種義歯床用レジンの組成を説明する。 ③各種義歯床用レジンの重合方法と硬化反応を説明する。 ④餅状化に影響する因子を説明する。 ⑤義歯裏装材の組成と特徴を説明する。
		レジンの成形技術・機器	義歯裏装材 使用法と性質 A. 加熱重合 B. 常温重合 C. 加熱・加圧成形	アクリル系、シリコンゴム系、ポリオレフィン系 粉液比、餅状化時間、機械的性質	
理工 2-2	野本理恵	成形修復材料	コンポジットレジン A. 硬化反応による分類 B. フィラーによる分類	化学重合型、光重合型、 デュアルキュア型 MFR型 ハイブリッド型	①各種コンポジットレジンの組成、硬化反応の違いとそれらの特徴を説明する。 ②フィラーの役割を説明する。
理工 3	野本理恵	歯科接着技術・機器	A. 歯質被着面処理 B. セラミックス被着面処理 C. 金属接着面処理	エッチング、プライミング、 ボンディング シランカップリング剤 メタルプライマー	①歯質接着システムの構成要素と役割を説明する。 ②化学的接着と機械的嵌合効力の違いを説明する。 ③被着体と接着前処理について説明する。
理工 4-1	野本理恵	金属材料	金合金	ISO規格金合金 カラット別金合金 白金合金 陶材焼付用金合金	①ISO規格の金合金について説明する。 ②陶材焼付用金合金について説明する。 ③金合金の添加元素について説明する。 ④金銀パラジウム合金について説明する。 ⑤銀合金の添加元素について説明する。 ⑥各種非貴金属について説明する。
		熱処理	銀合金 非貴金属	金銀パラジウム合金 低融銀合金 CoCr合金 NiCr合金 Ti・Ti合金 軟化熱処理、硬化熱処理 焼きなまし	

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
理工4-2	野本理恵	模型材	模型用石膏	普通石膏、硬質石膏、超硬質石膏	①各種模型材の組成と性質の違いを説明する。 ②石膏の硬化および硬化膨張の機構を説明する。
			レジン系模型材	エポキシレジン	
		埋没材	石膏系埋没材	クリストバライト埋没材、石英埋没材	③石膏の硬化時間、硬化膨張に影響する因子を説明する。
			高温用埋没材	リン酸塩系埋没材、シリカゾル系埋没材、チタン専用埋没材	④各種埋没材の組成と特徴を説明する。 ⑤各種埋没材を使用する金属を説明する。
埋没材の使用法と性質	混水比、硬化時間、硬化膨張、加熱膨張、機械的性質	⑥埋没材の吸水膨張、加熱膨張を説明する。			
理工4-3	野本理恵	金属の接合	ろう付け 鋳接 溶接	ろう、母材、フラックス、アンチフラックス	①ろう付け、鋳接、溶接の違いを説明する。 ②ろう、母材、フラックス、アンチフラックスについて説明する。
		ワックス	ワックス	パラフィンワックス インレーワックス、シートワックス レディーキャスティングワックス スティッキーワックス ユーティリティーワックス	③ワックスの種類、組成および特徴を説明する。 ④ワックスパターンの変形について説明する。
理工5-1	野本理恵	鋳造	鋳造工程 鋳造精度と適合性 鋳造欠陥		①精密鋳造の工程を説明する。 ②鋳造精度と適合性を説明する。 ③鋳造欠陥の原因と対処方法を説明する。
		切削、研削、研磨	切削器械 切削工具 研磨材	エアータービン、エアーモーター、マイクロモーター、ポイント、ディスク、パー	④切削、研削、研磨について、違いを説明する。
理工5-2	野本理恵	セラミック	陶材 ニューセラミックス セラミックスの成形技術・機器	長石質陶材、アルミナ陶材、金属焼付用陶材 リユースイト、アルミナ、ジルコニア 築盛、コンデンス、焼成 CAD/CAM、鋳造、射出成形	①広義と狭義のセラミックスを説明する。 ②陶材の組成と特徴を説明する。 ③ニューセラミックスの特徴を説明する。 ④セラミックスの成形方法を説明する。

指導教員：野本理恵

参考書：①「スタンダード歯科理工学」第5版 榎本貢三他編集幹事 学建書院 ￥9,180(税込)
ISBN：978-4-7624-3614-7

②「コア歯科理工学」 小倉英夫他編集幹事 医歯薬出版 ￥8,640(税込)
ISBN：978-4-263-45614-9

総合歯科医学Ⅵ（保存修復学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
修復 1	山本雄嗣	概論	保存修復の目的と変遷 検査・診断・治療方針 歯の構造	保存修復の概念 エナメル質、象牙質 象牙質/歯髄複合体	①保存修復の目的を述べる。 ②保存修復の変遷を述べる。ミニマルインターベンションについて述べる。 ③保存治療における検査、診断、治療方針、インフォームドコンセント、メンテナンスについて述べる。 ④エナメル質の構造と機能を述べる。 ⑤象牙質の構造と機能を述べる。 ⑥象牙質/歯髄複合体について述べる。
修復 2	山本雄嗣	歯の硬組織疾患	齲蝕 齲蝕以外の硬組織疾患と加齢変化	齲蝕の診断と対処 齲蝕以外の硬組織疾患の診断と対処	①歯の硬組織疾患の病因と病態を述べる。 ②齲蝕円錐の名称と内容を述べる。 ③急性齲蝕と慢性齲蝕の違いを説明する。 ④小窩裂溝齲蝕と平滑面齲蝕の違いを説明する。 ⑤齲蝕の診断・鑑別方法について述べる。 ⑥齲蝕のリスクに関連する因子を述べる。 ⑦齲蝕以外の硬組織疾患の原因を述べる。 ⑧齲蝕以外の硬組織疾患の治療法を述べる。 ⑨歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明する。 ⑩歯痛の機序を説明する。
修復 3	齋藤 渉	修復法の基礎 診療環境	修復方法 診療環境	修復方法 材料の基礎 診療環境 診療器具の取り扱い 診療姿勢 感染予防対策	①修復のための前準備の各項目について材料・器材名、目的、方法などを述べる。 ②修復物の外面的性状について説明する。 ③隣接面接触点の位置および形状について述べる。 ④修復材料の種類と特色について述べる。 ⑤修復材料の所要性質について述べる。 ⑥修復材料の選択基準について説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
修復 4	齋藤 涉	歯・歯髄の保存	歯髄保護	歯髄障害と歯髄保護 対策	①歯髄への切削の影響を説明する。 ②歯髄保護法の具体的材料・術式について述べる。
修復 5	齋藤 涉	接着性修復	接着性修復の意義と変遷 コンポジットレジン修復	歯質への接着理論 コンポジットレジン修復の基礎・特徴 コンポジットレジン修復の臨床手順	①コンポジットレジン修復の充填操作について述べる。 ②コンポジットレジン修復の研磨操作について述べる。 ③コンポジットレジン修復の経過について推論する。 ④コンポジットレジン修復の術後の不具合とその対策について述べる。
修復 6	齋藤 涉	接着性修復	グラスアイオノマーセメント修復	グラスアイオノマーセメント修復の基礎・特徴 グラスアイオノマーセメント修復の臨床手順	①グラスアイオノマーセメントの組成について述べる。 ②グラスアイオノマーセメント修復の特徴をコンポジットレジン修復と比較する。 ③グラスアイオノマーセメント修復の術式を述べる。 ④グラスアイオノマーセメント修復の前準備について述べる。 ⑤グラスアイオノマーセメント修復の窩洞の特徴および形成法について説明する。 ⑥グラスアイオノマーセメント修復の充填操作について述べる。 ⑦グラスアイオノマーセメント修復の研磨操作について述べる。 ⑧グラスアイオノマーセメント修復の経過について推論する。 ⑨グラスアイオノマーセメント修復の術後の不具合とその対策について述べる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
修復7	山本雄嗣	修復方法の基礎 非接着性修復	窩洞 メタルインレー修復	窩洞の分類 窩洞各部名称 窩洞の条件 メタルインレー修復の特徴・臨床手順	①窩洞の構成、名称、分類について述べる。 ②窩洞の基本形態について説明する。 ③メタルインレー修復の特徴について述べる。 ④メタルインレー修復の窩洞について述べる。 ⑤メタルインレーの材料学について述べる。 ⑥メタルインレー修復の手順・器材について述べる。 ⑦メタルインレーの製作法について述べる。 ⑧メタルインレー修復の予後について説明する。 ⑨各種セメントの組成を述べる。 ⑩各種セメントの用途を説明する。
修復8	山本雄嗣	接着性修復	接着性間接修復総論 補修復	レジンセメントの分類と組成 レジンコーティングの特徴・臨床手順 補修復の特徴・臨床手順	①レジンセメントの分類について述べる。 ②レジンセメントの組成・用途について述べる。 ③レジンコーティングの特徴について述べる。 ④レジンコーティングの臨床手順について述べる。 ⑤補修復に用いる材料と臨床手順について述べる。
修復9	山本雄嗣	接着性修復	コンポジットレジンインレー修復 セラミックインレー修復	コンポジットレジンインレー修復の特徴・臨床手順 セラミックインレー修復の特徴・臨床手順	①セラミック・コンポジットレジンインレー修復材料の組成を説明する。 ②セラミック・コンポジットレジンインレー修復法の特徴を述べる。 ③セラミック・コンポジットレジンインレー修復の修復物調整法を述べる。 ④セラミック・コンポジットレジンインレー修復の修復物接着法を説明する。 ⑤セラミック・コンポジットレジンインレー修復の予後に生じうる不具合について、またその対応について説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
修復 10	山本雄嗣	接着性修復 審美的アプローチ 総括	ベニア修復 歯の漂白	ベニア修復の特徴・臨床手順 変色歯の漂白の特徴・臨床手順	①ベニア修復材料の組成を説明する。 ②ベニア修復法の特徴を述べる。 ③ベニア修復の修復物調整法を述べる。 ④ベニア修復の修復物接着法を説明する。 ⑤ベニア修復の予後に生じうる不具合について、またその対応について説明する。 ⑥歯の変色の原因を説明する。 ⑦各種漂白法の特徴と術式を述べる。 ⑧漂白処置の経過と、予後に発生した不具合への対応について説明する。

指導教員：山本雄嗣、齋藤 渉

参考書：①「保存修復学21」 田上順次、他 永末書店 ￥9,000+税
ISBN：978-4-8160-1165-8

総合歯科医学Ⅵ（歯周病学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
歯周1	白川 哲	必修の基本的事項 7. 主要な疾患と障害の病因・病態 8. 主要な症候 9. 診察の基本 10. 検査・臨床判断の基本 12. 治療の基礎・基本手技	イ. 歯・口腔・顎・顔面の疾患と障害の概念 イ. 口腔・顎・顔面領域の症候 キ. 歯・歯周組織の診察 オ. 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 ケ. 歯・歯周組織に対する基本的処置	c. 歯周疾患 d. 歯周組織の症候 c. 歯周組織の症状 b. 歯周組織（辺縁・根尖）の検査 d. 歯周治療	①歯周疾患の病因・病態を説明する。 ②歯周組織の主要症候について説明する。 ③歯周組織の症状について説明する。 ④歯周疾患の基本的な検査方法を説明する。 ③歯周疾患の原因とその特徴を説明する。 ⑤歯周治療の基本術式を説明する。
歯周2	白川 哲	歯科医学総論（Ⅱ）正常構造と機能・発生・成長・発達、加齢 5. 歯と歯周組織の構造 （Ⅲ）病因、病態 2. 口腔顎顔面領域の疾患の病因・病態 （Ⅳ）主要症候 2. 歯・口腔・顎・顔面の症候 （Ⅵ）検査 1. 口腔検査・顎口腔機能検査	イ. 組織と性状 ア. 主要な病因・病態 イ. 辺縁歯周組織 ア. 口腔検査	b. 歯周組織 b. 歯・歯周組織の疾患 c. 歯周組織検査	①歯周組織の構造・組成を説明する。 ②歯周疾患の主要な病因・病態を説明する。 ③辺縁歯周組織の主要症候について説明する。 ④歯周疾患の診断に必要な検査項目を列挙し、その検査方法を説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
歯周3	白川 哲	(Ⅶ) 治療 1. 治療の基礎 2. 歯および歯周組織の治療 9. その他の治療法 (Ⅷ) 歯科材料と歯科医療機器 11. 歯科インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 歯科医学各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1. 歯の硬組織疾患	ア. 治療計画 イ. 治療の種類 ア. 基本的術式 ウ. 凍結療法、レーザー療法 イ. 組織再生用材料 歯の硬組織疾患の予防・管理	a. 治療計画の立案・提示 b. 原因療法と対症療法 c. 保存療法と外科療法 c. 歯周治療 e. 不正咬合の治療 a. 骨補填材 b. 細胞遮断膜 f. 口腔清掃指導	①歯周治療の基本原則と治療計画を理解し、歯周治療の基本方針と進め方を説明する。 ②不正咬合の治療について説明する。 ③歯科用レーザーの種類と用途について説明する。 ④組織再生用材料について説明する。 ⑤口腔清掃指導について説明する。
歯周4	白川 哲	歯科医学各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3. 歯周疾患	ア. 歯周疾患の病因と病態	a. 歯肉病変 b. 歯肉病変の病原因子 c. 歯周炎 d. 歯周炎のリスクファクター e. 壊死性歯周疾患 f. 咬合性外傷 g. 歯周組織の膿瘍 h. 歯肉退縮 i. 歯周一歯内病変 j. 歯周疾患と健康の関わり	①歯肉病変について説明する。 ②歯肉病変とその病原因子について説明する。 ③歯周炎について説明する。 ④歯周炎のリスクファクターについて説明する。 ⑤壊死性歯周疾患について説明する。 ⑥咬合性外傷について説明する。 ⑦歯周組織の膿瘍について説明する。 ⑧歯肉退縮について説明する。 ⑨歯周一歯内病変について説明する。 ⑩歯周疾患と全身疾患の関わりについて説明する。
歯周5	白川 哲 松島友二	歯科医学各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3. 歯周疾患	イ. 歯周疾患の予防・管理	a. 歯肉炎の予防・管理 b. 歯周炎の予防・管理 c. 予防効果の評価 d. 口腔清掃指導 e. 禁煙指導	①歯肉炎の予防・管理について説明する。 ②歯周炎の予防・管理について説明する。 ③予防効果の評価について説明する。 ④口腔清掃の意義と口腔清掃法について説明する。 ⑤禁煙指導について説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
歯周6	白川 哲 松島友二	歯科医学各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3. 歯周疾患	ウ. 歯周疾患の治療	a. 急性症状を有する歯周病への対応 b. 歯周基本治療 c. 咬合性外傷に対する治療 d. 歯周外科治療	①急性症状を有する歯周病への対応を説明する。 ②歯周基本治療について説明する。 ③咬合性外傷に対する治療について説明する。 ④組織付着療法・切除療法の目的を説明する。 ⑤組織付着療法・切除療法の種類を説明する。 ⑥組織付着療法・切除療法の適応を説明する。 ⑦組織付着療法・切除療法の術式を説明する。 ⑧歯周外科処置後の治癒形態を説明する。 ⑨歯周外科処置後の再評価について説明する。
歯周7	松島友二			d. 歯周外科治療 e. 歯周組織再生治療 f. 根分岐部病変の治療	①歯周形成外科手術の目的を説明する。 ②歯周形成外科手術の種類を説明する。 ③歯周形成外科手術の適応を説明する。 ④歯周形成外科手術の術式を説明する。 ⑤歯周組織再生療法の目的を説明する。 ⑥骨移植術の適応、術式を説明する。 ⑦GTR法の適応、術式を説明する。 ⑧エナメルマトリックスタンパク質の適応、術式を説明する。 ⑨サイトカイン療法を説明する。 ⑩根分岐部病変に対する分類別の処置法を説明する。 ⑪歯根形態に対する処置法の選択を説明する。
歯周8	松島友二			g. 口腔機能回復治療 h. 歯周疾患の抗菌療法 i. メインテナンス、SPT g. 全身疾患を有する者の歯周疾患治療	①口腔機能回復治療を説明する。 ②歯周疾患の抗菌療法について説明する。 ③メインテナンス、SPTについて説明する。 ④全身疾患を有する者の歯周治療法を説明する。

指導教員：白川 哲、松島友二

参考書：「臨床歯周病学」 吉江弘正、伊藤公一、村上伸也 編集 医歯薬出版 ￥9,975
ISBN：978-4-263-45604-0

総合歯科医学Ⅵ（歯内療法学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
歯内1	長谷川雅子	歯と歯周組織の構造・機能 歯の異常 主要な疾患と障害の病因・病態 診察の基本 検査の基本 歯の硬組織疾患	正常構造 組織と性状 形態の異常 歯・歯周組織の疾病と障害の概念 基本手技 口腔・顔面の検査 歯の硬組織疾患の原因と病態	歯の硬組織、歯髄（象牙質・歯髄複合体）、歯周組織の構造と機能 歯根、歯髄腔の形態（異常と変化） 歯髄の免疫、歯髄炎、根尖性歯周炎 歯の検査（硬組織・歯髄、根尖歯周組織） 象牙質知覚過敏症	①歯と歯周組織の構造と機能を説明できる。 ②歯、歯根、歯髄腔の異常形態と好発部位を説明できる。 ③歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周疾患の成り立ちを説明できる。 ④歯の検査法について説明できる。 ⑤象牙質知覚過敏症について説明できる。
歯内2	長谷川雅子	治療の基礎・基本手技 歯の硬組織疾患 歯髄疾患	歯・歯周組織に対する基本的処置 歯髄疾患の概要、症候、診断、治療法	象牙質・歯髄保護歯髄鎮痛消炎療法 間接覆髄法 暫間的間接覆髄法 直接覆髄法 生活・失活断髄法 覆髄材 歯髄炎	①歯髄保存療法の適応症、処置について説明できる。 ②覆髄材の特徴を説明できる。 ③症状から歯髄疾患の診断、治療法を選択できる。
歯内3	長谷川雅子	根尖歯周組織疾患 歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の治療	根尖歯周組織疾患の症候 根尖の治癒 歯髄除去療法 根尖性歯周疾患の治療 根管処置	根尖性歯周炎 器材、根管清掃剤、根管消毒剤、仮封、隔壁 根管充填法	①症状から根尖歯周組織疾患の診断、治療法を選択できる。 ②根尖の治癒経過を説明できる。 ③歯内治療の術式、使用する材料を説明できる ④根管充填および、根管充填後の経過、評価法を説明できる。
歯内4	長谷川雅子	歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の治療	根管処置	再根管治療 外科的歯内療法 顕微鏡を用いた歯内療法	①再根管治療について説明できる。 ②外科的歯内療法の適応症、処置法を説明できる。 ③顕微鏡による検査、処置の特徴を説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
歯内5	長谷川雅子	成人の歯髄疾患・ 根尖性歯周疾患	歯の変色 歯内-歯周疾患	歯の漂白 歯内-歯周疾患の分 類、診査、診断	①漂白の治療法を説明できる。 ②歯内-歯周疾患の原因、分類、 処置を説明できる。 ③根尖未完成歯の治療を説明で きる。
		根未完成歯の歯 髄・根尖性歯周 炎	根未完成歯の歯内 療法	アペキソゲネーシ ス、アペキシフィ ケーション、歯髄再 生療法	④加齢による歯と歯髄の変化、 高齢者の歯内療法の注意点を 説明できる。
		高齢者の歯内療 法	高齢者の歯内治療	高齢者の歯と歯髄	⑤歯の外傷・外傷歯の特徴と診 断、治療を説明できる。
		歯の外傷	外傷歯の分類と治 療	歯の外傷、亀裂・破 折・脱臼	⑥歯の内部吸収、外部吸収の原 因、処置を説明できる。
		病的歯根吸収	内部吸収、外部吸 収	内部吸収歯・外部吸 収歯の原因、治療	⑦歯内治療における偶発事故の 原因、予防、経過、処置を説 明できる。
		根管処置における 偶発症	偶発症と安全対策		

指導教員：長谷川雅子

参考書：歯内治療学第5版 (医歯薬出版) 10,800円(税込み)

ISBN978-4-263-45652-5

エンドドンティクス第5版 (永末書店) 9,720円(税込み)

ISBN-10:4816013407 ISBN-13:978-4-816013409

総合歯科医学Ⅵ（全部床義歯補綴学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
全部床 1	西山雄一郎	総論 I 無歯顎 補綴治療	全部床補綴の意義	QOLと歯科医学 歯科補綴学と義歯治療 歯科補綴診療と咬合 顎口腔系の機能と形態	①QOLについて説明する。 ②顎口腔機能について説明する。 ③無歯顎補綴治療の目的を説明する。 ④機能的咬合型を説明する。
		総論 II 下顎運動の記録	下顎運動の測定法 切歯点の運動 下顎頭の運動	各種下顎運動測定法 下顎位 咬合位 下顎頭の動き	①下顎運動測定法を説明する。 ②下顎位を説明する。 ③咬合位を説明する。 ④下顎頭の運動を説明する。
全部床 2	西山雄一郎	総論 III 補綴装置としての 全部床義歯	全部床義歯の構成 要素 維持、支持、安定 主要症候	全部床義歯の構成 維持、支持、安定 義歯による疼痛	①義歯の構成要素を説明する。 ②維持を説明する。 ③支持、安定を説明する。 ④主要症候を説明する。
		総論 IV 無歯顎の病因	無歯顎者の病因と 病態	無歯顎の病因 無歯顎の病態 加齢変化 咀嚼障害 発語障害 嚥下障害	①生理的变化を理解する。 ②顎堤変化を説明する。 ③筋の働きを説明する。 ④下顎の基本運動を説明する。 ⑤咀嚼障害を説明する。 ⑥嚥下障害を説明する。
全部床 3	西山雄一郎	各論 診察、検査、 診断 治療	医療面接 診察、検査 診断と治療計画 治療方針の立案 前処置	医療面接 一般的な診察 局所的な診察 各種検査 無歯顎補綴の診断 到達目標と治療効果 治療計画の提示 補綴的前処置 外科的前処置	①面接の基本姿勢を説明する。 ②一般的な診察を説明する。 ③局所的な診察を説明する。 ④検査の種類を説明する。 ⑤診断要素を説明する。 ⑥治療計画法を説明する。 ⑦補綴的前処置を説明する。 ⑧外科的前処置を説明する。
全部床 4	西山雄一郎	特殊な義歯	特殊な義歯による 治療法	即時義歯 金属床義歯 顎義歯	①特殊な義歯の治療法を説明する。 ②金属床義歯の利点、欠点を説明する。 ③即時義歯の治療手順を説明する。 ④顎顔面補綴治療の特徴を説明する。
全部床 5	佐藤洋平	印象採得	目的 概形印象 精密印象 印象材料	概形印象採得法 研究用模型 精密印象採得法 印象材料の分類	①印象法を説明する。 ②印象材を説明する。 ③研究用模型の意義を説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
全部床 6	佐藤洋平	顎間関係の記録 咬合床による咬 合採得	咬合床の製作 基準平面 顎間関係の記録法	上下顎咬合床の製作 法 各種基準平面 垂直的顎間関係 水平的顎間関係	①咬合床の調整を説明する。 ②基準平面の意義を説明する。 ③垂直的顎間関係の決定法を説 明する。 ④水平的顎間関係の決定法を説 明する。 ⑤ゴシックアーチ描記法を説明 する。
		咬合器装着	咬合器の種類 フェイスボウ 咬合器の調節	平均値咬合器 半調節性咬合器 全調節性咬合器 咬合器の調節	①咬合器の種類を説明する。 ②フェイスボウの意義を説明す る。 ③咬合器装着を説明する。 ④咬合器の調節を説明する。
全部床 7	佐藤洋平	人工歯排列	人工歯の歴史 人工歯の種類 人工歯の選択	人工歯の種類と材料 選択基準 垂直被蓋と水平被蓋	①人工歯の種類と材料を説明す る。 ②人工歯の選択基準を説明する。
		人工歯排列	人工歯の排列法	前歯部排列基準 臼歯部排列基準 咬合様式 咬合平衡	①人工歯排列基準を説明する。 ②人工歯排列法を説明する。 ③咬合様式を説明する。 ④咬合平衡を説明する。
		義歯製作	歯肉形成	歯肉形成法	①歯肉形成法を説明する。
全部床 8	佐藤洋平	義歯製作	蠟義歯試適 埋没、重合、 研磨	試適時の検査 発語試験 埋没法、重合法、研 磨法 咬合器再装着 削合法	①試適時の検査内容を説明する。 ②発語試験を説明する。 ③埋没、重合法を説明する。 ④人工歯の削合法を説明する。
		義歯装着 経過観察 定期診査	義歯装着時の調整 義歯装着後の変化 定期診査と対応	形態の調整、機能の 調整 患者指導 治療評価 術後の義歯、生体の 変化 定期検査と評価 修理	①義歯装着時の調整法を説明す る。 ②患者指導を説明する。 ③治療評価法を説明する。 ④術後管理を説明する。 ⑤定期診査を説明する。 ⑥義歯修理法を説明する。

指導教員：西山雄一郎、佐藤洋平

参考書：①「無歯顎補綴治療学 第3版」 細井紀雄、他 編集 医歯薬出版株式会社 ￥10,800
ISBN：978-4-263-45792-4
②「コンプリートデンチャーテクニック 第6版」 (医歯薬出版) ￥9,450
ISBN978-4-263-45646-0

総合歯科医学Ⅵ（部分床義歯補綴学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
部分床 1	白井麻衣	I 可撤性部分床義歯の概念 1. 定義 2. 目的 3. 臨床的意義 4. 構成要素 5. 分類 6. 可撤性支台装置	A. 欠損による障害 B. 臨床的意義 C. 特徴 D. 分類 E. クラスプ F. アタッチメント		①可撤性部分床義歯の定義と特徴を説明する。 ②治療効果と臨床的意義を説明する。 ③固定性義歯およびインプラント義歯との相違を説明する。 ④各部構成要素を説明する。 ⑤各種の分類を説明する。 ⑥可撤性支台装置の構造、機能を説明する。 ⑦所要条件と設計の基本を説明する。 ⑧分類と基本的機能の関係を説明する。 ⑨クラスプ用材料を説明する。 ⑩アタッチメントの構造と機能を説明する。 ⑪分類を説明する。
部分床 2	白井麻衣	7. 連結装置 8. 義歯床と人工歯	A. 意義と役割 B. 設計の所要条件 C. 種類 D. 大連結子の種類 E. 義歯床 F. 人工歯	a. 大連結子 b. 小連結子 a. 上顎の大連結子 b. 下顎の大連結子	①連結装置の概念を説明する。 ②意義と役割を説明する。 ③設計の所要条件を列挙する。 ④種類と適応症を説明する。 ⑤大連結子を説明する。 ⑥小連結子を説明する。 ⑦義歯床の役割を説明する。 ⑧義歯床の要件を列挙する。 ⑨義歯床各部の名称を説明する。 ⑩義歯床の辺縁形態を説明する。 ⑪各種人工歯の特徴と適応を説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
部分床 3	白井麻衣 鈴木恭典	Ⅱ.部分無歯顎の補綴治療			
		1. 診察・検査と診断	A. 診察と検査 B. 治療計画を左右する因子	a. 欠損補綴の主要な診察・検査項目	①部分無歯顎の診察・検査項目を記述する。 ②機能検査を説明する。 ③治療計画を左右する因子を列挙する。
		2. 前処置	A. 定義 B. 広義の前処置 C. 支台歯の前処置	a. ガイドプレーンの形成 b. レストシートの形成 c. 歯冠形態修正	④前処置の目的を述べる。 ⑤広義の前処置を列挙する。 ⑥粘膜調整の目的と方法を説明する。 ⑦支台歯の前処置を説明する。 ⑧各種印象の名称と意義を説明する。 ⑨部分床義歯印象の特殊性を説明する。 ⑩部分床義歯の各種印象法を説明する。 ⑪既製トレーの具備条件を説明する。 ⑫個人トレーの目的と製作法を説明する。 ⑬オルタードキャストテクニックについて説明する。 ⑭模型の種類と製作法を説明する。
		3. 印象採得	A. 印象の種類 B. 印象の目的 C. 部分床義歯の印象法 D. 印象用トレー E. 模型	a. 被圧変位性 a. オルタードキャストテクニック a. 既製トレー b. 個人トレー	
部分床 4	鈴木恭典	4. 顎間関係の記録〔咬合採得〕	A. 定義 B. 咬合床 C. 歯列、対向関係による咬合採得の種類 D. 咬合器装着	a. 基礎床 b. 咬合堤	①咬合床の役割を列挙する。 ②歯列、対向関係による咬合採得の種類を説明する。 ③咬合採得の注意点を説明する。 ④咬合採得で生じやすいエラーを説明する。 ⑤サベイングに関連する用語を説明する。 ⑥サベイングの必要な事項を列挙する。
		5. サベイングと設計	A. 設計 B. サベイヤーの構造と用具 C. サベイングに関連する用語 D. サベイングの必要な事項	a. サベイヤー a. サベイング	
		6. 製作	A. レジン床義歯の製作 B. 金属床義歯の製作 C. 試適 D. 埋没と重合 E. 義歯の装着 F. 装着時の指導とホームケア	a. 金属床義歯の構造 b. フレームワークの製作 c. 金属材料 a. 人工歯排列試適 b. フレームワークの試適 a. 装着の手順 b. 部分床義歯に与える咬合 c. 不適合の原因 a. デンチャーブラーク	①金属床義歯の構造を具体的に述べる。 ②金属床義歯各部の名称と目的を説明する。 ③フレームワークの製作法を説明する。 ④金属床義歯に用いる金属の種類と特徴を説明する。 ⑤蠟義歯試適時の確認事項を説明する。 ⑥フレームワーク試適時の確認事項を説明する。 ⑦義歯装着の手順を説明する。 ⑧部分床義歯に与える咬合を説明する。 ⑨装着時の指導内容を説明する。 ⑩デンチャーブラークについて説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
部分床 5	鈴木恭典	7. 装着後の管理		a. 義歯装着後の不快事項 b. 適合性検査 a. 長期経過後の変化 b. 粘膜の病的変化 c. 定期検診	①義歯装着後に起こりやすい不快事項とその対応を説明する。 ②適合性検査について説明する。 ③長期経過後に起こる変化を説明する。 ④粘膜の病的変化を説明する。 ⑤定期検診の重要性を説明する。
		7. 装着後の管理		a. 義歯修理の種類と方法 b. リベース c. リライン	①義歯破折の原因を列挙する。 ②義歯修理の方法を具体的に述べる。 ③リベースとリラインを説明する。
		8. 特殊な義歯	A. 即時義歯 B. 治療用義歯 C. オーバーデンチャー D. インプラントデンチャー		①即時義歯について説明する。 ②治療用義歯について説明する。 ③オーバーデンチャーについて説明する。 ④インプラントオーバーデンチャーの特徴、適応症を説明する。 ⑤埋入計画、義歯の設計を説明する。 ⑥インプラントオーバーデンチャーの併発症を説明する。

指導教員：鈴木恭典、白井麻衣

- 参考書：①「スタンダード部分床義歯補綴学」 藍 稔 他 著 学建書院 ￥6,300 (税込)
ISBN：4-7624-0656-2 C3047
- ②「セレクト部分床義歯」 歯科医師国家試験対策研究会 編 学建書院 ￥2,100 (税込)
ISBN：4-7624-1215-5 C3347
- ③「部分床補綴学模型実習アトラス」 鶴見大学歯学部歯科補綴学第一講座 編 ￥5,250 (税込)

総合歯科医学Ⅵ（クラウンブリッジ補綴学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
Cr-Br1	中村善治	クラウンブリッジによる治療	臨床操作	支台築造	①支台築造の臨床的意義を説明できる。 ②支台築造の種類と方法を説明できる。 ③築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 ④支台築造の選択基準を説明できる。
Cr-Br2	中村善治	クラウンブリッジによる治療	臨床操作	支台歯形成	①支台歯形成の目的と原則を説明できる。 ②補綴装置に適した辺縁形態を説明できる。 ③歯頸部辺縁形態の分類と適応を説明できる。 ④歯質・歯髄・歯周組織への配慮を説明できる。 ⑤全部被覆冠の支台歯形成の手順を説明できる。 ⑥部分被覆冠の支台歯形成の注意点を説明できる。
Cr-Br3	中村善治	クラウンブリッジによる治療	クラウンブリッジの設計		①レジン前装冠の適応症について説明できる。 ②レジン前装冠の製作法について説明できる。 ③陶材焼付冠の適応症について説明できる。 ④陶材焼付冠の製作法について説明できる。 ⑤ハイブリッド型コンポジットレジン前装冠・ジャケット冠について説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
Cr-Br4	中村善治	クラウンブリッジによる治療	クラウンブリッジの設計 臨床操作 技工操作	印象採得（口腔内スキャナー） CAD/CAMによる製作	<p>①陶材焼付冠の適応症について説明できる。</p> <p>②陶材と金属の機械的性質を説明できる。</p> <p>③陶材と金属の結合を理解する。</p> <p>④メタルコーピングの形態を説明できる。</p> <p>⑤陶材焼付冠の製作法を説明できる。</p> <p>①代表的なシステムの特徴と製作方法を説明できる。</p> <p>①CAD/CAMによる補綴装置製作の臨床的意義を説明できる。</p> <p>②代表的なシステムの特徴と製作方法を説明できる。</p> <p>③CAD/CAM用ブロックの種類と性質を説明できる。</p> <p>④CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を説明できる。</p> <p>⑤オールセラミック修復の臨床的意義を説明できる。</p> <p>⑥適応症と禁忌症を説明できる。</p>
Cr-Br5	重本修伺	クラウンブリッジによる治療	臨床操作	口腔内試適 装着	<p>①試適の意義を説明できる。</p> <p>②試適時の確認事項を説明できる。</p> <p>①装着に至る手順を説明できる。</p> <p>②装着材料の種類と使用方法を説明できる。</p> <p>①埋没材の種類と使用方法ならびに埋没法を説明できる。</p> <p>②埋没材の性質を説明できる。</p>
Cr-Br6	重本修伺	クラウンブリッジによる治療	技工操作	ロストワックス法による製作	<p>①鑄造法の種類と方法を説明する。</p> <p>②鑄造用金属の種類と性質を説明する。</p> <p>③鑄造欠陥の種類と原因を説明できる。</p> <p>④鑄造後の酸処理の効果と使用する酸について説明できる。</p> <p>⑤ろう付けの手順を説明できる。</p> <p>⑥金属の熱処理の効果について説明できる。</p> <p>⑦金属の熱処理の方法について説明できる。</p> <p>⑧金属の研磨に使用する材料について説明できる。</p>

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
Cr-Br7	重田優子	口腔・顎顔面の 症候	歯列、咬合		①種々の下顎位について説明できる。 ②下顎運動範囲と基本的な下顎運動 について説明できる。 ③歯周組織の構成をあげ、それぞ れについて説明できる。 ④咬合・咀嚼障害の病因と病態につ いて説明できる。 ⑤咬合・咀嚼障害の症状と徴候につ いて説明できる。
Cr-Br8	重田優子	口腔検査、顎口 腔機能検査	下顎運動検査		①口腔内検査法・口腔機能検査法を列 挙し、説明できる。 ②咬合検査を列挙し、説明できる。 ③下顎位検査を列挙し、説明できる。 ④下顎運動検査を列挙し、説明できる。
Cr-Br9	重田優子	病態 クラウンブリッ ジによる治療	咬合・咀嚼障害 摂食・嚥下障害 構音・発音障害 ブラキシズム 睡眠時無呼吸症 候群 臨床操作	顎間関係の記録	①咀嚼能力検査から病態を説明でき る。 ②下顎運動検査から病態を説明でき る。 ③筋機能検査から病態を説明できる。 ④構音機能検査から病態を説明でき る。 ⑤嚥下機能検査から病態を説明でき る。 ①ブラキシズムの病態を説明できる。 ②ブラキシズムの治療法を説明でき る。 ①睡眠時無呼吸症候群の病態を説明 できる。 ②睡眠時無呼吸症候群の治療法を説 明できる。 ①咬頭嵌合位の決定方法を説明でき る。 ②基準点について説明できる。 ③フェイスボウトランスファーにつ いて説明できる。 ④チェックバイト法を説明できる。 ⑤パントグラフによる下顎運動の記 録法を説明できる。 ⑥チューイン法について説明できる。

指導教員：中村善治、重田優子、重本修伺

参考書：「クラウンブリッジ補綴学第5版」

矢谷博文、三浦宏之、細川隆司、小川 匠 医歯薬出版 ￥10,000+ 税金
ISBN：978-4-263-45783-2

総合歯科医学Ⅵ（口腔顎顔面外科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口外1	熊谷賢一	各論Ⅲ：3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療	ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 下顎頭欠損、関節突起發育不全 b 下顎頭肥大 c 関節突起骨折 d 顎関節脱臼 e 非感染性顎関節炎 f 感染性顎関節炎 g 顎関節リウマチ<リウマチ性顎関節炎> h 痛風性顎関節炎 i 腫瘍および腫瘍類似疾患 j 顎関節強直症 k 顎関節症 l 咀嚼筋腱・腱膜過形成	顎関節疾患の診断と治療法について理解できる。
口外2	熊谷賢一	各論Ⅳ：1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	工 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患		各種腫瘍の病態を理解し、各種データに基づいた診断と鑑別診断および治療について理解できる。
	熊谷賢一	各論Ⅳ：5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療	a 外科療法 b 化学療法 c 放射線治療 d 免疫療法	良性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造・治療の副作用について理解できる。
口外3	熊谷賢一	各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	c 口唇癌 d 舌癌 e 頬粘膜癌 f 口蓋癌 g 歯肉癌 h 口底癌 i 上顎洞癌 j 軟組織の肉腫 k 白血病 l 悪性リンパ腫 m 悪性黒色腫 n 前癌病変、前癌状態 o 腫瘍類似疾患	各種悪性腫瘍の病態を理解し、各種データに基づいた診断と鑑別診断について理解できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口外 3	熊谷賢一	各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療	a 外科療法 b 化学療法 c 放射線治療 d 免疫療法	悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造・治療の副作用について理解できる。
			キ がん治療患者の管理	a がんの告知 b 治療時の患者管理 c 社会復帰 d 末期癌患者の管理 e 口腔衛生管理、口腔ケア f 緩和医療	がん患者の管理や口腔ケア、緩和ケア、疼痛コントロールについて理解できる。
口外 4	佐藤光一郎	必須Ⅹ：15 治療の基礎・基本手技	ア 意義、目標 イ 種類、特性 ウ 治療の適応・選択 エ 治療の場	a 疾患の治療、自然治癒 a 原因療法、対症療法 b 保存療法、根治療法 a 適応 b 禁忌 a 外来 b 入院 c 施設 e 地域 f 隔離	実際の口腔外科の手術手技の意義・種類・適応を理解するとともに、周術期の管理についても理解を深める。
口外 5	熊谷賢一	各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 歯原性良性腫瘍 b 歯原性悪性腫瘍 c 非歯原性良性腫瘍 d 非歯原性悪性腫瘍 e 骨関連病変 f 線維骨性病変 g 巨細胞性病変	良性・悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造について理解できる。
			キ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断と治療	a 顎骨腫瘍の外科療法 b 顎骨の再建 c 顎顔面補綴 d 顎顔面インプラント治療	各種腫瘍の病態を理解し、診断と治療について理解できる。
口外 6	佐藤光一郎	総論Ⅹ：5 手術基本手技	ア 消毒と滅菌 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法 オ 穿刺、切開排膿、ドレナージ カ 抜歯 キ 口腔の小手術 ク 移植・再植 ケ 創傷の治療		口腔外科の手術手技を行う際に必要な、処置方法・器具や術野の消毒・滅菌、さらに損傷の概念およびその治療方法について理解できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口外6	佐藤光一郎	総論 X : 10 その他の治療法	ア 理学療法 イ 超音波療法 ウ 運動療法 エ 凍結療法 オ レーザー療法 サ 輸液療法 シ 輸血療法		
口外7	熊谷賢一	各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	c 口唇癌 d 舌癌 e 頬粘膜癌 f 口蓋癌 g 歯肉癌 h 口底癌 i 上顎洞癌 j 軟組織の肉腫 k 白血病 l 悪性リンパ腫 m 悪性黒色腫 n 前癌病変、前癌状態 o 腫瘍類似疾患	各種悪性腫瘍の病態を理解し、各種データに基づいた診断と鑑別診断について理解できる。
			カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療	a 外科療法 b 化学療法 c 放射線治療 d 免疫療法	悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造・治療の副作用について理解できる。
		各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 5 高齢者等に関連した歯科治療	カ 周術期口腔機能管理		周術期口腔機能管理について理解できる。
口外8	熊谷賢一	各論Ⅲ : 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 顎顔面の変形を来す疾患・病態	ア 顎顔面の変形をきたす疾患・病態・診断 イ 顎顔面骨の変形に対する治療	a 顎矯正手術 b 補綴前外科手術 c 顎骨形成術 d 骨移植術 <骨增量術> e 骨延長術 f 上顎洞底挙上術 g 下顎頭形成術	顎口腔領域における発育異常の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。また、顎口腔領域に症状を伴う症候群について理解できる。
			総論Ⅺ : 16 歯科治療・口腔外科・インプラント用材料	イ 骨補填材 ウ 骨接合・顎骨再建プレート オ 縫合糸、包帯	
		各論Ⅲ : 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 口腔・顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群		

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口外 9	佐藤光一郎	各論Ⅳ：2 軟組織の損傷	ア 口腔軟組織の損傷 イ 顔面軟組織の損傷 ウ 損傷に対する治療		顎口腔領域の損傷の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。
口外 10	佐藤光一郎	各論Ⅳ：9 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷	ア 歯の亀裂・骨折・脱臼 イ 骨折の様態 ウ 歯槽骨骨折 エ 下顎骨骨折 オ 関節突起骨折 カ 上顎骨骨折 キ 頬骨・頬骨弓骨折 ク 鼻骨骨折 ケ 眼窩壁吹き抜け骨折 コ 口腔上顎洞瘻 サ 損傷に対する治療		顎口腔領域の損傷の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。

指導教員：熊谷賢一、佐藤光一郎

参考書：「口腔外科学」 白砂兼光 古郷幹彦

医歯薬出版株式会社

¥24,000

ISBN：978-4-263-45635-4 C3047

総合歯科医学Ⅵ（口腔内科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口内1	浅田光一	必修8 主要な症候 ア. 全身の症候 総論Ⅳ 主要症候	ア. 全身の一般的症候	a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢	全身の一般的症候を説明できる。
			イ. 皮膚・粘膜系		皮膚、粘膜の症候を説明できる。
			ウ. 呼吸器・循環器系		呼吸器、心臓、血管の症候を説明できる。
			エ. 消化器系		消化器の症候を説明できる。
			オ. 運動・骨格系、造血器、免疫系		運動・骨格系、造血器系、免疫系の症候を説明できる。
			カ. 泌尿器・生殖器系		泌尿器・生殖器系の症候を説明できる。
			キ. 心理、精神機能系		心理、精神機能系の症候を説明できる。
			ク. 神経系、感覚系		神経系、感覚系の症候を説明できる。
			ケ. 内分泌系（代謝、栄養を含む）		内分泌、代謝、栄養の症候を説明できる。
			必修8 主要な症候	イ. 口腔・顎顔面の症候	a. 口腔・顎顔面の一般的症候
総論Ⅳ 口腔・顎顔面の症候	ケ. 口腔機能障害	a. 開口・閉口障害、咀嚼障害、摂食・嚥下障害、発音・構音障害、味覚障害、口腔乾燥	a. 開口・閉口障害、咀嚼障害、摂食・嚥下障害、発音・構音障害、味覚障害、口腔乾燥を説明できる。		
口内2	浅田光一	必修9 診察の基本 総論Ⅴ 診察1 診察総論	ア. 診察のあり方		診察のあり方を説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口内2		必修2 社会と歯科医療	イ. 診察の基本手技		診察の基本手技を説明できる。
			エ. 全身の診察		全身の診察を説明できる。
			オ. 口腔・顎顔面の診察		口腔・顎・顔面の診察を説明できる。
			コ. 診療録、診療情報の記録と管理	a. 診察に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約）の管理・保存 c. SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）	診察に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約）を説明できる。またそれらの管理・保存を説明できる。 SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）を説明できる。
口内3	浅田光一	必修10検査・臨床判断の基本 総論Ⅵ検査	ア. 意義、目標	a. 診断 b. 治療効果の判定、治療経過の評価 c. スクリーニング、医療情報の収集	検査の診断上の意義を説明できる。 検査の治療効果の判定、治療経過の評価についての意義を説明できる。 スクリーニング検査、医療情報の収集としての検査の意義を説明できる。
			イ. 検査の安全	a. 実施（必要性）の説明 b. 患者・検体の確認 c. 検査の合併症・リスク	検査の必要性、合併症など安全について説明できる。 検査における患者・検体の確認について説明できる。 検査の合併症・リスクについて説明できる。
			ウ. 基準値と結果の解釈	a. 基準範囲の概念 b. 生理的変動、異常値と原因 c. 性差、年齢差 d. 症候、病歴（既往歴、投与薬物）との関連	基準範囲の概念について説明できる。 検査の生理的変動について説明できる。 検査の異常値とその原因について説明できる。 検査における性差、年齢差について説明できる。 検査と症候との関連について説明できる。 検査と病歴（既往歴、投与薬物）との関連について説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標		
口内3			工. 検体検査	a. 一般臨床検査（尿、糞便、穿刺液、関節液）	検体検査の種類、内容、異常値の意味について説明できる。		
				b. 血液学検査（血球検査、凝固・線溶系検査、血液型・輸血関連検査、赤沈）			
				c. 生化学検査（蛋白、生体色素、酵素、含窒素成分、糖代謝関連物質、脂質代謝関連物質、電解質など）			
				d. 免疫血清学検査（炎症マーカー、自己抗体、血清学的診断）			
						e. 微生物学検査（染色法、培養検査、薬剤感受性など）	
						f. 病理学検査（細胞診・組織診）	細胞診と組織診について説明できる。
						g. 染色体・遺伝子検査	染色体・遺伝子検査について説明できる。
						h. 検体の採取・保存・確認	検体の採取・保存・確認について説明できる。
					オ. 生体機能検査	c. 消化管機能検査	消化管機能検査について説明できる。
						d. 肝・胆道機能検査（色素排泄試験）	肝・胆道機能検査について説明できる。
			e. 内分泌・代謝機能検査	内分泌・代謝機能検査について説明できる。			
			f. 腎機能検査（クレアチニンクリアランス、糸球体濾過率）	腎機能検査について説明できる。			
			カ. 電気生理学検査	a. 脳波検査	脳波検査について説明できる。		
				b. 筋電図・神経電動検査（徒手筋力テスト）	筋電図・神経電動検査について説明できる。		
			キ. 皮膚検査	a. 皮膚アレルギー検査（プリックテスト、皮内テスト、針反応テスト、パッチテスト）	a. 各種皮膚アレルギー検査の種類、その特徴について説明できる。		
				b. 皮膚知覚検査（二点識別検査、SWテスト）	b. 皮膚知覚検査について説明できる。		
			ク. 睡眠検査	ポリソムノグラフィ	ポリソムノグラフィについて説明できる。		
			ケ. 顎口腔機能検査	f. 発声・構音・発語検査	発声・構音・発語検査について説明できる。		
				g. 鼻咽腔閉鎖機能検査	鼻咽腔閉鎖機能検査について説明できる。		
				h. 味覚の検査	味覚の検査について説明できる。		

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口内3			コ.口腔内検査	口臭検査	口臭検査について説明できる。
口内4	佐藤 徹	嚢胞性疾患	軟組織に発生する嚢胞性疾患		①軟組織に発生する歯源性嚢胞の一般症状と分類を説明する。 ②軟組織に発生する非歯源性嚢胞の一般症状と分類を説明する。 ③唾液腺にかかわる嚢胞性病変の診断、病態、治療法を説明する。
			顎骨に発生する嚢胞性疾患		①顎骨に発生する歯源性嚢胞の一般症状と治療法を説明する。 ②顎骨に発生する非歯源性嚢胞と嚢胞類似疾患の症状と治療法を説明する。
口内5	浅田光一	総論Ⅲ病因、病態 1 病因、病態	サ.医原病	a.検査・診断に伴う医原病 b.治療に伴う医原病	医原病の原因と病態について説明できる。
		総論Ⅴ診察 4.妊婦・授乳婦への対応	ア.身体的特徴		妊婦の身体的特徴を説明できる。
			イ.心理・社会的特徴		妊婦の心理・社会的特徴を説明できる。
			ウ.診察		妊婦の診察について説明できる。
			エ.歯科治療上留意すべき事項		妊婦の歯科治療上留意すべき事項を説明できる。
		必修2 社会と歯科治療	カ.院内感染対策	a.標準予防策	標準予防策を説明できる。
				b.抗菌薬の適正使用と薬剤耐性	抗菌薬の適正使用と薬剤耐性を説明できる。
				c.医療廃棄物処理	医療廃棄物処理について説明できる。
				d.院内感染対策委員会	院内感染対策委員会について説明できる。
		各論Ⅲ顎・口腔領域の疾患	シ 口腔・顎顔面領域に関連して現れる精神・心身医学的病態	a.気分障害（抑うつ障害、双極性障害、心的外傷、ストレス関連障害）	気分障害を説明できる。
b.不安障害	不安障害を説明できる。				
c.身体表現性障害	身体表現性障害を説明できる。				
d.心身症	心身症を説明できる。				

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口内5		総論Ⅶ治療 9 その他の治療	オ.免疫療法		免疫療法を説明できる。
			カ.酸素療法		酸素療法と高圧酸素療法を説明できる。
			コ.精神療法	一般心理療法、カウンセリング、自律訓練法、行動療法、認知行動療法	精神療法を説明できる。
口内6	佐藤 徹	唾液腺疾患	発育異常		唾液腺の発育異常を説明する。
			異所性唾液腺		異所性唾液腺を説明する。
			唾液腺損傷		①唾液瘻を説明する。 ②Frey症候群を説明する。 ③唾液腺疾患での外来異物を説明する。
			唾液腺炎、唾液管炎		①ウイルス性を含む唾液腺炎を説明する。 ②唾液管炎を説明する。
			口腔乾燥症		放射線や薬物による口腔乾燥症を説明する。
			流涎症		流涎症を説明する。
			IgG4関連疾患		IgG4関連疾患を説明する。
			Sjögren症候群		Sjögren症候群を説明する。
			唾石症		唾石症を説明する。
			ア.良性腫瘍 イ.悪性腫瘍 ウ.唾液腺腫瘍類似疾患 エ.唾液腺疾患の治療		①唾液腺腫瘍の分類を説明する。 ②唾液腺腫瘍の特徴を説明する。 ③良性および悪性の唾液腺腫瘍の診断と治療法を説明する。 ④唾液腺の腫瘍類似疾患の診断と治療法を説明する。
口内7	佐藤 徹	粘膜疾患	ウイルス性口内炎		①単純疱疹を説明する。 ②手足口病を説明する。 ③ヘルパンギーナを説明する。
			天疱瘡、類天疱瘡		①天疱瘡を説明する。 ②類天疱瘡を説明する。
			多形滲出性紅斑		多形滲出性紅斑を説明する。
			薬物性口内炎		①皮膚粘膜眼症候群を説明する。 ②中毒性表皮剥離壊死症を説明する。
			SLE		SLEを説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口内7			慢性再発性アフタ		慢性再発性アフタを説明する。
			Behçet病		Behçet病を説明する。
			壊死性潰瘍性歯肉口内炎、壊疽性口内炎		壊死性潰瘍性歯肉口内炎と壊疽性口内炎を説明する。
			口腔扁平苔癬		口腔扁平苔癬を説明する。
			口腔カンジダ症		口腔カンジダ症を説明する。
			白板症		白板症を説明する。
			内因性色素沈着症		内因性色素沈着症を説明する。
			外因性色素沈着症		外因性色素沈着症を説明する。
			色素性母斑		色素性母斑を説明する。
			von Recklinghausen病		von Recklinghausen病を説明する。
			地図状舌		地図状舌を説明する。
			毛舌		毛舌を説明する。
			正中菱形舌炎		正中菱形舌炎を説明する。
			肉芽腫性口唇炎		肉芽腫性口唇炎を説明する。
		口角炎、口角びらん		口角炎、口角びらんを説明する。	
治療の基礎	全身管理に注意すべき疾患	免疫・アレルギー	<ul style="list-style-type: none"> ①免疫不全患者での注意事項を説明する。 ②膠原病患者での注意事項を説明する。 ③アレルギー疾患患者での注意事項を説明する。 ④AIDS患者での注意事項を説明する。 		

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口内7		全身に関連する疾患の病態・診断・治療	口腔症状を呈する内分泌障害、代謝障害、栄養障害		①下垂体性巨人症と小人症の口腔症状を説明する。 ②甲状腺機能亢進症と低下症の口腔症状を説明する。 ③副甲状腺機能低下症の口腔症状を説明する。 ④Cushing病、Cushing症候群の口腔症状を説明する。 ⑤アルドステロン症の口腔症状を説明する。 ⑥Addison病の口腔症状を説明する。 ⑦糖尿病の口腔症状を説明する。 ⑧アミロイドーシスの口腔症状を説明する。 ⑨くる病の口腔症状を説明する。
口内8	佐藤 徹	血液疾患	赤血球系疾患	a 貧血 b 赤血球増多症	①鉄欠乏性貧血や再生不良性貧血などの貧血とその口腔症状について説明する。 ②赤血球増多症について説明する。
			白血球系疾患	a 白血病 b 無顆粒球症 c 悪性リンパ腫 d 多発性骨髄腫	①白血病について説明する。 ②無顆粒球症について説明する。 ③悪性リンパ腫について説明する。 ④多発性骨髄腫について説明する。
			出血性素因	a Osler病 b アレルギー性紫斑病 c ITP d 血小板無力症 e 血友病A・B f DIC	①Osler病を説明する。 ②アレルギー性紫斑病を説明する。 ③ITPを説明する。 ④血小板無力症を説明する。 ⑤血友病A・Bを説明する。 ⑥DICを説明する。
			血液疾患や出血性素因での観血的治療、歯科治療		①抗凝血薬、抗血小板薬を説明する。 ②出血素因患者や抗血栓薬服用者の歯科治療（特に観血的処置）を説明する。
		診断学	医療面接	a.医療面接の意義・目的 b.面接のマナー c.病歴聴取	①医療面接の意義・目的を説明できる。 ②面接のマナーを説明できる。 ③病歴聴取を説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口内9	山近重生	必修8 主要な症候	ウ 全身的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候	f 結核・梅毒に伴う症候（粘膜斑、潰瘍など）	結核、梅毒の症候を説明できる。
		総論V 診察 6 全身疾患を有する者への対応	ア 留意すべき疾患	i 感染症	結核、ウイルス性肝炎などの感染症について説明できる。
		総論VII 治療 1 治療の基礎	エ 全身管理に留意すべき疾患・対象	k 感染症	ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症について説明できる。
		各論III 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療	a 歯冠周囲炎〈智歯周囲炎〉	歯冠周囲炎〈智歯周囲炎〉について説明できる。
				b 口腔軟組織の炎症	歯肉膿瘍、歯槽膿瘍、骨膜下膿瘍、蜂窩織炎〈蜂巣炎〉、組織隙の炎症、歯性扁桃周囲炎について説明できる。
				c 所属リンパ節の炎症	所属リンパ節の炎症について説明できる。
				d 歯性上顎洞炎	歯性上顎洞炎について説明できる。
				e 歯性全身感染症	菌血症、敗血症、歯性病巣感染、全身性炎症反応症候群〈SIRS〉、感染性心内膜炎について説明できる。
				f 肉芽腫性炎	放線菌症、口腔結核、口腔梅毒について説明できる。
		各論III 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療	a 歯槽骨炎、顎骨炎	歯槽骨炎、顎骨炎について説明できる。
				b 顎骨骨膜炎	顎骨骨膜炎について説明できる。
				c 顎骨骨髓炎	顎骨骨髓炎について説明できる。
				d 歯性上顎洞炎	歯性上顎洞炎について説明できる。
				e 放射線性骨壊死	放射線性骨壊死について説明できる。
				f 薬剤関連顎骨疾患	薬剤関連顎骨壊死・壊疽・骨髓炎について説明できる。
g 外歯癭、内歯癭	外歯癭、内歯癭について説明できる。				

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
口内9		各論Ⅲ顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療	ウ 口腔症状を呈する細菌感染症	h 顎骨周囲軟組織の炎症	歯肉膿瘍、骨膜下膿瘍、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎について説明できる。
				a 梅毒	梅毒について説明できる。
				b 破傷風	破傷風について説明できる。
				c 結核	結核について説明できる。

指導教員：浅田洸一、佐藤徹、山近重生

参考書：歯科国試KEYWORDS「口腔外科アトラス」第6版

浅田洸一他 医学評論社 ￥6,600

ISBN：978-4-86399-227-6 C3047

「口腔外科学」 白砂兼光 古郷幹彦 医歯薬出版株式会社 ￥24,000

ISBN：978-4-263-45635-4 C3047

「最新口腔外科学」 榎本昭二 道健一他 監修 医歯薬出版株式会社 ￥29,000

ISBN：978-4-263-45806-8

「口腔内科学」 山根源之 草間幹夫 久保田朗 編集主幹 永末書店 ￥18,000

ISBN：978-4-8160-1304-1

総合歯科医学Ⅵ（歯科麻酔学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
麻酔 1	笹尾真美	局所麻酔	局所麻酔薬 血管収縮薬 局所麻酔法 局所麻酔時の偶発症		①局所麻酔薬の種類と作用を説明できる。 ②血管収縮薬の種類と作用を説明できる。 ③局所麻酔法について説明できる。 ④局所麻酔時の局所的偶発症と対処法を説明できる。 ⑤局所麻酔時の全身的偶発症と対処法を説明できる。
麻酔 2	笹尾真美	歯科における全身的偶発症と対応	歯科治療時の偶発症と対応		①血管迷走神経反射の病態と対応を説明できる。 ②過換気症候群の病態と対応を説明できる。 ③局所麻酔薬中毒の病態と対応を説明できる。 ④アナフィラキシーショックの病態と対応を説明できる。 ⑤血管収縮薬による反応の病態と対応を説明できる。 ⑥合併する疾患の増悪の病態と対応を説明できる。
麻酔 3	笹尾真美	精神鎮静法	吸入鎮静法 静脈内鎮静法		①吸入鎮静法の薬剤および適応と禁忌を説明できる。 ②静脈内鎮静法の薬剤および適応と禁忌を説明できる。
麻酔 4	笹尾真美	全身麻酔	吸入麻酔 静脈麻酔 日帰り全身麻酔	吸入麻酔薬 静脈麻酔薬 麻酔前投薬 筋弛緩薬とその拮抗薬 麻酔補助薬 日帰り全身麻酔	①麻酔薬、麻酔補助薬、筋弛緩薬、拮抗薬の種類と特徴を説明できる。 ②麻酔法について説明できる。 ③日帰り全身麻酔、小児や高齢者の全身麻酔の特徴を説明できる。
麻酔 5	笹尾真美	周術期の管理①	周術期管理 全身の評価	呼吸機能検査 心機能検査 麻酔器材	①術前評価（口腔、全身）ができる。 ②パルスオキシメトリ、スパイロメトリを説明できる。 ③心電図、心臓超音波検査、胸部X線写真を説明できる。 ④全身麻酔に使用する器材を説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
麻酔 6	笹尾真美	周術期の管理②	モニタリング 輸液、輸血 合併症	モニタリング 術前、術中、術後管理	⑤術中、術後管理について説明 できる。 ⑥術前、術中、術後のモニタリ ングを説明できる。 ⑦周術期合併症と対処法につい て説明できる。 ⑧術後疼痛管理、感染予防、栄 養管理を説明できる。
麻酔 7	笹尾真美	ペインクリ ニック	疼痛の病因、病態 疼痛性疾患 麻痺性疾患 緩和医療	侵害受容性疼痛、神 経障害性疼痛、 心理社会的因子によ る疼痛、口腔・顔面 領域の疼痛の治療 顔面神経麻痺の治療 緩和ケア、ペインコ ントロール	①顎顔面領域の疼痛疾患と治療 法を説明できる。 ②顎顔面領域の麻痺性疾患と治 療法を説明できる。 ③癌性疼痛、ペインコントロー ル（医療用麻薬）について説 明できる。 ④緩和ケアについて説明できる。
麻酔 8	笹尾真美	救急医療	初期救急 救急医療	救急患者の診察、評 価と処置 一次救命処置 <BLS> 二次救命処置	①救急処置を要する症状、病態 （心停止、失神、ショック、 けいれん、頭痛、運動麻痺、 呼吸困難、アレルギー症状、 誤飲・誤嚥）を説明できる。 ②バイタルサインを説明できる。 ③意識障害の評価を説明できる。 ④病態の評価と鑑別ができる。 ⑤心肺蘇生、AEDについて説 明できる。 ⑥高度な気道確保、電気的治療 について説明できる。 ⑦静脈確保、酸素療法、救急医 薬品について説明できる。
麻酔 9	笹尾真美	全身疾患を有す る患者への対応 ① 妊婦、授乳婦へ の対応	全身管理に留意す べき全身疾患①	呼吸器系 循環器系 脳血管系 妊婦、授乳婦への対 応	以下の疾患を有する患者の歯科 治療時に留意すべき点を説明で きる。 ①呼吸不全、気管支喘息、誤嚥 性肺炎、慢性閉塞性肺疾患 （COPD） ②先天性心疾患、心筋梗塞、狭 心症、不整脈、高血圧症、深 部静脈血栓症、心不全、心内 膜炎、弁膜症 ③高血圧緊急症、脳卒中 ④妊婦、授乳婦の身体的と対応

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
麻酔 10	笹尾真美	全身疾患を有する患者への対応②	全身管理に留意すべき全身疾患②	代謝、内分泌系 消化器系 泌尿器系 精神、神経系	以下の疾患を有する患者の歯科治療時に留意すべき点を説明できる。 ①糖尿病、脂質異常症、骨粗鬆症、甲状腺疾患 ②消化器潰瘍、急性・慢性肝炎、肝硬変 ③慢性腎不全 ④認知症、統合失調症、てんかん

指導教員：笹尾真美

参考書：「歯科麻酔学」第7版 金子 讓 監修 医歯薬出版株式会社 ￥11,880（税込）
ISBN：978-4-263-45642-2

「歯科麻酔学」第8版 福島和昭 監修 医歯薬出版株式会社 ￥14,040（税込）
ISBN：978-4-263-45829-7

「歯科麻酔・生体管理学」第2版 吉田和市編集 学健書院 ￥8,424（税込）
ISBN：978-4-7624-1679-8

総合歯科医学VI (口腔顎顔面放射線画像診断学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
放射線 1 -①	五十嵐	放射線の性質と作用	電離放射線		<ul style="list-style-type: none"> 放射線の種類を説明する。 X線の作用を説明する。
			放射性同位元素		<ul style="list-style-type: none"> 放射性同位元素を説明する。
放射線 1 -②	五十嵐	画像検査	X線撮影装置・器材	X線の発生	<ul style="list-style-type: none"> X線の発生を説明する。 X線装置の構造を説明する。
			X線画像の形成	解像度、鮮鋭度	<ul style="list-style-type: none"> 解像度についてを説明する。
				コントラスト	<ul style="list-style-type: none"> コントラストを説明する。 接線効果を説明する。
放射線 1 -③	五十嵐	画像検査		散乱線	<ul style="list-style-type: none"> 散乱線の発生を説明する。 散乱線による影響を説明する。
			デジタル画像システム	CCD,CMOS IP	<ul style="list-style-type: none"> デジタルの特性を説明する。 センサーの種類を説明する。
			画質	解像度、階調度	<ul style="list-style-type: none"> 解像度に影響する。因子を説明する。 階調度による影響を説明する。
放射線 2 -①	五十嵐	画像検査	検査における医療情報		HIS、RIS、PACS、CAD
			口内法X線検査	二等分法、平行法 咬翼法	<ul style="list-style-type: none"> 二等分法と平行法の違いを説明する。 咬翼法の適応を説明する。 咬合法の適応を説明する。
			撮影補助具		<ul style="list-style-type: none"> 特徴と利点、欠点を説明する。
放射線 2 -②	五十嵐	画像検査	パノラマX線検査	断層撮影とスリット撮影	<ul style="list-style-type: none"> パノラマ撮影の原理を説明する。 撮影手順を説明する。 パノラマ正常像の解釈
			顎顔面X線検査		<ul style="list-style-type: none"> 頭部後前方向撮影を説明する。 Waters法を説明する。 四分画撮影を説明する。 頭部軸方向撮影を説明する。 眼窩下顎頭方向撮影を説明する。 頭部X線規格撮影を説明する。
			CT		<ul style="list-style-type: none"> CTの原理を説明する。 CTの適応を説明する。 CT像の解釈
			歯科用コーンビームCT		<ul style="list-style-type: none"> CBCTの原理を説明する。 CBCTの適応を説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
放射線 3 -①			造影検査	陽性造影剤 陰性造影剤 MR造影剤	<ul style="list-style-type: none"> 唾液腺造影検査を説明する。 経静脈造影CT検査を説明する。 顎関節腔造影検査を説明する。 造影MR検査を説明する。 嚥下造影法を説明する。 血管造影を説明する。 造影剤の副作用を説明する。
			MRI		<ul style="list-style-type: none"> MRIの原理を説明する。 MRIの適応を説明する。 MR像の解釈
放射線 3 -②			シンチグラフィ SPECT PET		<ul style="list-style-type: none"> 核医学検査の原理と適応を説明する。
			超音波検査		<ul style="list-style-type: none"> 超音波検査の原理と適応を説明する。
			内視鏡検査	IVR	<ul style="list-style-type: none"> その他の検査法を説明する。
			放射線の単位・測定		<ul style="list-style-type: none"> 照射線量 吸収線量 実効線量 等価線量 放射能を説明する。
放射線 3 -③		主要な疾患と障害の病因・病態	放射線と健康		<ul style="list-style-type: none"> 線量測定を説明する。
				放射線による有害事象	<ul style="list-style-type: none"> 被曝の分類を説明する。 放射線の影響分類を説明する。
			放射線の防護・管理	<ul style="list-style-type: none"> 行為の正当化を説明する。 行為の最適化を説明する。 線量限度について説明する。 	
			放射線の身体的影響	<ul style="list-style-type: none"> 身体的影響を説明する。 	
		中毒・放射線障害	放射線の遺伝的影響	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝的影響を説明する。 	
			放射線の確率的影響・確定的影響	<ul style="list-style-type: none"> 確率的影響と確定的影響を説明する。 	
		主要な疾患の病因・病態	放射線治療の生物学的・物理学的基礎	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療の作用を説明する。 	
		放射線治療	口腔領域の放射線治療	<ul style="list-style-type: none"> 放射性感受性を説明する。 放射線治療の適応を説明する。 	
放射線治療患者の口腔管理 がん治療患者の管理	口腔衛生管理、口腔ケア		<ul style="list-style-type: none"> 副作用を説明する。 治療前後の口腔管理を説明する。 		

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標		
放射線 4 -①②③		主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療	<ul style="list-style-type: none"> 歯原性嚢胞 非歯原性嚢胞 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯根嚢胞 ・含歯性嚢胞 ・切歯管嚢胞 		
			顎骨に発生する腫瘍及び腫瘍類似疾患	<ul style="list-style-type: none"> 歯原性良性腫瘍 非歯原性良性腫瘍 歯原性悪性腫瘍 非歯原性悪性腫瘍 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯原性角化嚢胞 ・静止性骨空洞 ・単純性骨嚢胞 ・エナメル上皮腫 ・歯原性粘液腫 ・セメント芽細胞種 ・歯牙腫 ・骨腫 ・血管腫 ・腺腫様歯原性腫瘍 ・石灰化歯原性嚢胞 ・セメント質骨性異形成症 		
				骨関連病変		<ul style="list-style-type: none"> ・骨形成線維腫 ・線維性異形成症 ・歯肉癌 	
				線維骨性病変		<ul style="list-style-type: none"> ・リンパ節転移 ・骨肉腫 ・上顎洞癌 	
放射線 5 -①②		主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療	<ul style="list-style-type: none"> c 下顎骨骨折 d 上顎骨骨折 e 頬骨・頬骨弓骨折 			
			歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療	<ul style="list-style-type: none"> c 顎骨骨髓炎 e 放射線性骨壊死 h 顎骨周囲軟組織の炎症 			
				<ul style="list-style-type: none"> b 口腔軟組織の炎症 c 歯性上顎洞炎 	<ul style="list-style-type: none"> ・蜂窩織炎 ・組織隙の炎症 		
			軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療	<ul style="list-style-type: none"> b 非歯原性嚢胞 	<ul style="list-style-type: none"> ・類皮嚢胞 ・類表皮嚢胞 ・鰓嚢胞 ・貯留嚢胞 		
			軟組織に発生する腫瘍及び腫瘍類似疾患	<ul style="list-style-type: none"> b 非歯原性良性腫瘍 d 舌癌 i 上顎洞癌 l 悪性リンパ腫 	<ul style="list-style-type: none"> ・悪性リンパ腫 ・神経鞘腫 ・脂肪腫 		
放射線 6 -①②		主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療	唾液腺疾患の病態・診断・治療	<ul style="list-style-type: none"> d 唾液腺炎 e Sjögren症候群 f 粘液嚢胞 g 良性腫瘍 k 唾石症 	<ul style="list-style-type: none"> ・唾液腺炎 ・Sjögren症候群 ・粘液嚢胞 ・唾石症 ・多形腺腫 ・Wharthin腫瘍 		

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
放射線 6 -①②			顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	c 関節突起骨折 d 顎関節脱臼 f 感染性顎関節炎 l 腫瘍および腫瘍類似疾患 j 顎関節強直症 k 顎関節症	・ 関節突起骨折 ・ 顎関節脱臼 ・ 顎関節強直症 ・ 滑膜性骨軟骨腫症 ・ 骨軟骨腫 ・ 化膿性関節炎 ・ 顎関節症 ・ 変形性顎関節症
		口腔・顎・顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	A. 鎖骨頭蓋異形成症 B. 大理石骨病 C. McCune-Albright症候群 K. 基底細胞母斑症候群 M. Gardner症候群		骨系統疾患・症候群の特徴的画像所見を説明する。

指導教員：五十嵐千浪

参考書：歯科放射線学 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45812-9 C3047 11,000円

総合歯科医学Ⅵ（歯科矯正学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	
矯正1 矯正2	友成 博	112回国家試験解説			最新の国家試験の傾向を理解する。	
矯正3	新井千博	口腔・顎顔面の発生・成長・発育	頭頸部の形成 頭部の成長・発育	顎顔面 頭蓋 歯列・咬合	①頭蓋および顎顔面の成長発育のメカニズムを理解する。 ②歯・歯列弓の成長、発育、咬合の推移を説明できる。	
		人体の成長・発達・加齢	発育区分における成長・発達の評価	年齢による成長評価法（歴年齢、生理的年齢）		
矯正4	新井千博	主要な疾患と障害の病因・病態	口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念	不正咬合 咀嚼障害	①歯の位置異常、歯列形態の異常、上下歯列弓関係の異常等に伴う咬合の異常について説明できる。 ②咬合の異常による障害について説明できる。 ③遺伝的・環境的原因、全身的・局所的原因、先天的・後天的原因について説明できる。 ④咬合位について具体的に述べる。	
		主要な症候	口腔・顎顔面領域の症候	歯列・咬合の症候（不正咬合）		
		診察の基本	歯列・咬合状態の診察	歯列弓の形態・大きさ 前歯部の被蓋・咬合状態 臼歯部の咬合状態		
矯正5	新井千博	口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常	口腔・顎顔面の先天異常	口唇裂・口蓋裂	①各先天異常が引き起こす顎骨の異常について理解する。 ②歯数の異常、歯の形態異常、舌の形態異常が引き起こす不正咬合について理解する。	
			遺伝性疾患	Beckwith-Wiedemann症候群 Marfan症候群 先天性外胚葉形成不全 Apert症候群 Crouzon症候群 Robinシークエンス Treacher Collins症候群 鎖骨頭蓋骨異形成症 第一第二鰓弓症候群 軟骨無形成症		
			染色体異常	Down症候群 Turner症候群		
			歯の異常	数の異常		過剰歯、先天欠如
			形態の異常	癒合歯、癒着歯、双生歯		
		口腔軟組織の疾患	巨舌症、小舌症			

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
矯正 6	及川 崇	治療の基礎・基本手技	歯・歯周組織に対する基本的処置	不正咬合の治療	①基本的な治療法について説明できる。
		人体の成長・発達・加齢	口腔・顎の機能の発達	咀嚼 嚥下	①咀嚼嚥下について具体的に述べる。 ②幼児型嚥下、成熟型嚥下、舌突出癖について説明できる。
		歯列・咬合異常の予防	動的咬合誘導 口腔習癖とその対応		不正咬合の予防について説明できる。
		不正咬合の病因・病態	正常咬合の概念と成立の条件 不正咬合の種類 不正咬合の分類 不正咬合の原因 不正咬合による障害		①正常咬合の条件を説明できる。 ②不正咬合の病態・原因・障害について説明できる。
矯正 7	及川 崇	不正咬合の診断	診察 検査 診断 治療計画	(抜歯・非抜歯の判定含む)	①不正咬合の診査に必要な項目を知り、理解する。 ②模型分析の項目とその意味を理解する。 ③頭部X線規格写真の分析結果から症例の特徴を把握する。 ④矯正治療における抜歯の意義、部位を具体的に説明できる。 ⑤治療目標に基づいた治療の順序、処置・術式の決定、矯正装置の選択、治療計画が立てられる。
		矯正力と固定	狭義の矯正力 顎整形力 生体反応 固定	(歯科矯正用アンカースクリューを含む)	①顎整形力による生体組織の反応を説明できる。 ②歯の移動のメカニズムと歯周組織の反応について説明できる。
矯正 8	及川 崇	矯正装置	唇舌側弧線装置	リングアーチ〈舌側弧線装置〉 トランスパラタルアーチ Nanceのホールディングアーチ タンククリブ	①可撤式矯正装置の種類とそれぞれの適応症とその効果を説明できる。 ②固定式矯正装置の種類とそれぞれの適応症とその効果を説明できる。 ③各種矯正装置の使用に関する注意事項を説明できる。
			顎外固定装置	ヘッドギア チンキャップ〈オトガイ帽装置〉 上顎前方牽引装置	
			マルチブラケット装置		

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
矯正 8			拡大装置	急速拡大装置 クワドヘリックス	
			機能的矯正装置	アクチバートル バイオネーター Fränkel装置 リップバンパー	
			床矯正装置	咬合挙上板 咬合斜面板 スライディングブ レート	
			保定装置	Hawleyタイプリ テナー Beggタイプリテ ナー（ラップアラウ ンドリテナー、 サーカムフェレン シャルタイプリテ ナー）トゥースポジ ションナー 犬歯間保定装置	
矯正 9	新井千博	歯科矯正材料	線材料 バンド、ブラケッ ト、チューブ エラスティック 材、コイルスプリ ング 接着用材料 床用レジン、熱可 塑性樹脂	（ステンレス鋼、コ バルトクロム合金、 ニッケルチタン合 金、チタンモリブデ ン合金）	矯正用材料の特性を理解し説明 できる。
		矯正用器械・器 具	プライヤー類		矯正治療に必要な器械器具につ いてについて説明できる。
矯正 10	新井千博	不正咬合の診断	診断 治療計画 固定	抜歯・非抜歯 Tweedの抜歯基準	矯正治療における抜歯の必要性 を述べる。
矯正 11 矯正 12	及川 崇	不正咬合の 治療	不正咬合の予防 乳歯列期・混合歯 列期の不正咬合の 治療 永久歯列期の不正 咬合の治療 先天性疾患を伴う 不正咬合の治療 顎変形症の治療 補綴・歯周治療と の併用 治療中の管理 保定 偶発症		①混合歯列期での顎整形力を用 いた治療法について理解する。 ②永久歯列期での各種不正咬合 の治療法について理解する。 ③矯正学と隣接歯科学との関連 を知る。 ④矯正治療の治療目標と適用範 囲を考える。

指導教員：友成 博、及川 崇、新井千博

参考書：新しい歯科矯正学 石川 博之 他 永末書店 ￥ 7,000 + 税

ISBN: 4-8160-1163-3

歯科矯正学模型実習書 鶴見大学歯科矯正学講座 編集 ￥13,650 (税込)

総合歯科医学Ⅵ（小児歯科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
小児 1	守安克也	小児の発育	1. 小児の発育 2. 身体発育の特徴 3. 精神的発達の特徴 4. 小児の生理的特徴	A. 小児期の分類 B. 生理的年齢 A. 出生時および出生後の発育 B. 各器官の発育 A. 運動機能の発達 B. 言語の発達 C. 情動の発達 A. 原始反射 B. 生理的特徴	①小児期の分類を列挙する。 ②生理的年齢を説明する。 ③小児の身体発育の特徴を述べる。 ④小児の精神的発達の特徴を述べる。 ⑤小児の生理的特徴を述べる。
		頭蓋顎顔面の発育 歯の発育	1. 頭蓋顎顔面の発育 2. 口腔機能の発達 3. 歯の形成 4. 歯の萌出	A. 脳頭蓋の発育 B. 顎顔面頭蓋の発育 A. 歯の萌出時期 B. 歯の吸収と脱落	①脳頭蓋の発育の特徴を述べる。 ②顎顔面頭蓋の発育の特徴を述べる。 ③口腔機能の発達を述べる。 ④正常な歯の形成過程を説明する。 ⑤正常な歯の萌出時期を述べる。 ⑥歯の吸収と脱落のメカニズムを説明する。
小児 2	守安克也	歯の発育障害	1. 歯数の異常 2. 構造の異常 3. 形態の異常 4. 色調の異常		①歯数の異常に関連する疾患を列挙し、その特徴を述べる。 ②構造の異常を伴う疾患を列挙し、その特徴を述べる。 ③形態の異常を伴う疾患を列挙し、その特徴を述べる。 ④色調の異常萌出を伴う関連する疾患を列挙し、その特徴を述べる。
小児 3	守安克也	歯列および咬合の発育	1. 歯列・咬合の発育	A. 咬合発育段階とその特徴	①正常な歯列・咬合の発育過程を説明する。 ②咬合発育段階とその特徴について述べる。
小児 4	守安克也	小児の齲蝕と予防	1. 乳歯の齲蝕 2. 幼若永久歯の齲蝕 3. 乳歯の齲蝕が小児の心身に及ぼす影響		①乳歯の齲蝕の特徴について説明する。 ②幼若永久歯の齲蝕の特徴について説明する。 ③乳歯の齲蝕が小児の心身に及ぼす影響を列挙し、説明する。
小児 5	守安克也	小児の臨床的対応	1. 行動変容による対応法 2. 特殊な対応法		①行動変容による対応法を列挙し、説明する。 ②特殊な対応法を列挙し、説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
小児 6	守安克也	小児の齲蝕治療	1. 乳歯および幼若永久歯の歯冠修復	A. 診察・診断 B. 術式	①乳歯および幼若永久歯の歯冠修復の術式を述べる。
小児 7	守安克也	小児の歯髓疾患	1. 乳歯および幼若永久歯の歯内療法	A. 歯髓炎の処置 B. 歯根形成と根尖閉鎖様式	①乳歯および幼若永久歯の歯内療法の術式を述べる。
小児 8	守安克也	小児の歯周疾患	1. 診察・診断 2. 歯周疾患の予防と処置	A. ブラークコントロール	①小児の歯周組織の特徴を述べる。 ②歯周疾患を列挙し、臨床的特徴を述べる。
小児 9	守安克也	小児の外科的処置	1. 顎・口腔疾患 2. 抜歯 3. 薬物療法	A. 小児の薬用量 B. 前投薬	①顎・口腔疾患を列挙し、説明する。 ②顎・口腔疾患を列挙し、その原因と処置法を述べる。
		小児の歯の外傷	1. 歯の外傷 2. 外傷の処置	A. 診断・診察 B. 破折・脱臼 C. 固定法	①乳歯の外傷の臨床的特徴を述べる。 ②幼若永久歯の外傷の臨床的特徴を述べる。 ③小児の歯の外傷の処置法を列挙し、述べる。
小児 10	守安克也	咬合誘導	1. 咬合誘導法	A. 静的咬合誘導	①静的咬合誘導の種類を列挙し、説明する。
				A. 動的咬合誘導 B. 口腔習癖	①動的咬合誘導の種類を列挙し、説明する。 ②口腔習癖の種類と歯科的問題を説明する。
小児 11	守安克也	心身障害児の歯科診療	1. 心身障害児の分類 2. 障害児への対応	A. 歯科的対応 B. 保健指導	①心身障害児を分類し、その特徴を述べる。 ②障害児への歯科的対応を述べる。
小児 12	守安克也	小児の口腔疾患と全身疾患	1. 臨床上注意すべき全身疾患 2. 遺伝性疾患		①臨床上注意すべき全身疾患を列挙し、説明する。 ②遺伝性疾患と口腔疾患との関連性について述べる。
		小児の口腔疾患と全身疾患	1. 全身疾患による軟組織の異常 2. 全身疾患による硬組織の異常		①全身疾患による軟組織の異常を列挙し、説明する。 ②全身疾患による硬組織の異常を列挙し、説明する。

指導教員：守安克也

参考書：小児の口腔科学 前田隆秀 朝田芳信 田中光郎 土屋友幸 宮沢裕夫 渡部 茂

学建書院 ￥14,000

ISBN：4-7624-0646-5

総合歯科医学Ⅵ（高齢者歯科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
高齢者 1	菅 武雄	各論V1 高齢者の歯科診療で注意すべき疾患・病態	ア 運動障害 イ 認知障害 ウ 摂食嚥下障害 エ 誤嚥性肺炎 オ フレイル カ その他	a 脳血管疾患 b 関節疾患 c 骨折 d 廃用症候群 e 神経・筋疾患 a 認知症 a 摂食行為・食物認知障害 b 咀嚼障害 c 嚥下障害 a 呼吸器疾患 b 胃食道逆流症	①高齢者で高頻度に見られる全身疾患・症状の留意すべき点を説明する。
		必修2 社会と歯科医療	ア 患者障害者の持つ心理社会的問題と背景	f ICF,ICIDH	②ICF,ICIDHについて説明する。
高齢者 2	大房 航	必修7 主要な疾患と障害の病因・病態	イ 口腔・顎顔面の疾患と障害の概念	f 摂食嚥下障害	①摂食・嚥下機能の加齢変化について説明する。
		必修8 主要な症候	ウ 全身的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候	j 脳血管・神経・筋疾患に伴う症候	②摂食・嚥下障害の病因と関与する因子について説明する。
		必修12 治療の基礎・基本手技	サ 栄養療法	a 経口栄養、経静脈栄養、経管栄養	③摂食・嚥下障害における評価と検査の概要を説明する。
		各論V3 高齢者に関連した臨床評価・診断・治療計画	イ 口腔機能の評価 ア 治療的アプローチ チ イ 代償的アプローチ ウ 環境改善的アプローチ エ 心理的アプローチ オ 栄養療法	a 摂食嚥下機能	
		各論V6 摂食嚥下機能への対応			

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
高齢者 3	菅 武雄	必修12 治療の基礎・基本的手法	サ 栄養療法 シ 口腔機能のリハビリテーション ス 患者管理の基本	a 経口栄養 a 機能の回復 b 口腔機能管理 c コミュニケーションと社会参加 c ADLの評価	①高齢者の栄養評価ができる。 ②栄養療法について説明する。 ③口腔機能管理について説明する。 ④ADLの評価ができる。
高齢者 4	鈴木典子	総論Ⅳ 5 高齢者への対応 各論Ⅴ 1 高齢者等の歯科診療で注意すべき疾患・病態 4 高齢者等に関連した予防と管理	ア 診察 イ 機能評価 ウ 栄養評価 オ フレイル イ フレイル予防のための歯科保健管理	a 診察時の注意 b 既往歴・合併症の評価 a 日常生活動作 b 手段的日常生活動作 c 認知機能 d 運動評価機能 f 要介護度 a 栄養アセスメント b 口腔機能管理	①高齢者の診察時の注意点を説明する。 ②既往歴・合併症の評価ができる。 ③ADL・IADLについて説明する。 ④認知機能の評価について説明する。 ⑤運動機能評価ができる。 ⑥要介護度について説明する。 ⑦栄養アセスメントについて説明できる。 ⑧フレイルとサルコペニアが説明できる。 ⑨口腔機能管理の説明ができる。
高齢者 5	鈴木典子	必修 8 主要な症候	ウ 全身的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候	j 脳血管・神経・筋疾患に伴う症候	①高齢者の脳血管疾患・神経・筋疾患に伴う症候の説明ができる。
高齢者 6	菅 武雄	総論Ⅶ 1 治療の基礎 6 リハビリテーション	ウ ライフステージ別の治療 ア リハビリテーションの概念 イ リハビリテーションの技術 エ 口腔機能管理	c 高齢者の治療 a 摂食嚥下障害のリハビリテーション b 発声構音発語障害のリハビリテーション c 口腔機能管理	①リハビリテーションの概念について説明する。 ②リハビリテーションにおける摂食・嚥下障害について説明する。 ③構音機能障害とリハビリテーションについて説明する。 ④リハビリテーションにおける口腔機能管理について説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
高齢者 7	赤松那保	必修2 社会と 歯科医療	イ 保険医療福祉介 護の制度と医療 経済	c 介護保険法 g 地域歯科保健活動 での各職種の連携	①介護保険法について説明する。 ②多業種連携について説明する。 ③口腔機能管理について説明する。
		必修3 チーム 医療	ア チーム医療の意 義	a 多業種連携	
		4 予防と健康 管理増進	エ 口腔健康管理	a 口腔衛生管理のため の口腔ケア b 口腔機能維持向上 のための口腔ケア c 病期に応じた口腔 ケア	

指導教員：菅 武雄、鈴木典子、大房 航、赤松那保

参考書：①「老年歯科医学」 老年歯科医学会編 医歯薬出版 ￥10,000
ISBN978-4-263-45789-4

②「改訂 歯科診療のための内科」子島 潤、宮武佳子、深山治久、森戸光彦
ISBN：978-4-8160-1226-6 未永書店 ￥7,600

総合歯科医学Ⅵ（法医歯学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
法医 1	佐藤慶太	歯科医師法	歯科医師の任務、 資格、業務	歯科医師免許 歯科医師の欠格事由 歯科医師の届出 歯科医師名の公表 業務の独占 応召の義務 診療録の記載・保管 処方せん及び診断書 の発行 保健指導	①歯科医師の法的根拠を説明する。 ②歯科医師の法的任務を説明する。 ③歯科医師の行政処分について説明する。 ④歯科医業の独占及び名称使用の制限について説明する。 ⑤歯科医師の発行文書について説明する。 ⑥診療録の取扱いについて説明する。
法医 2	佐藤慶太	歯科医療関係職 種 医療法 1	歯科衛生士 歯科技工士 看護師 薬剤師 臨床放射線技師 医療機関の管理	歯科衛生士法 歯科技工士法 保健師・助産師・看護 師法 薬剤師法 臨床放射線技師法 医療機関の開設届け 医療機関の管理者 医療広告 標榜診療科	①歯科医業と関係職との業務上の 関連について説明する。 ②歯科関係職における歯科医行 為の禁止について説明する。 ③歯科関係職の特性について説 明する。 ④医療機関の管理・開設につ いて説明する。 ⑤医療広告の範囲について説明 する。 ⑥歯科医療機関の標榜診療科に ついて説明する。
法医 3	佐藤慶太	医療法 2 とその 他関連法規 医療事故と医事 紛争	医療の安全対策 (医療法2) 医薬品や医療機器 の取り扱い 説明義務 セカンドオピニオン 医療契約 医療過誤 刑事責任 民事責任	医療安全の確保 リクスマネージメン ト ヒヤリハットレポー ト アクシデントリポー ト 医薬品と医療機器の 安全管理 医療事故調査制度 院内感染対策 薬機法 麻薬及び向精神薬取 締法 等 医療法 リスボン宣言 刑法 民法 医療裁判 和解・調停	①医療安全体制について説明す る。 ②医療事故の発生原因につ いてを説明する。 ③医療事故の防止について説明 する。 ④医療事故の報告及び調査につ いて説明する。 ⑤院内感染対策について説明す る。 ⑥医薬品や医療機器の安全管理 について説明する。 ⑦麻薬等の管理・施用について 説明する。 ⑧医療を受ける患者権利につ いて説明する。 ⑨医療事故の法的責任につ いて説明する。 ⑩医事紛争の回避・解決法につ いて説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
法医 4	佐藤慶太 勝村聖子	診療情報の保護 歯科法医学	医療記録の保存 医療記録の開示 秘密漏洩の禁止 診療情報の提供 死因究明 解剖	医療法 個人情報保護法 刑法 健康保険法 刑事訴訟法 死体解剖保存法 死因究明制度 死因・身元調査法	①診療情報の対象と保管について説明する。 ②診療情報の開示について説明する。 ③診療情報の秘密保持について説明する。 ④医療機関同士での診療情報の共有について説明する。 ⑤我が国の死因究明制度について説明する。 ⑥解剖の種類について説明する。
法医 5	勝村聖子	歯科法医学と個人識別 災害歯科医学	死後変化 身元確認 災害医療 救急医療 医療救護 トリアージ	災害救助法 災害対策基本法 心臓死 脳死 死体現象 年齢推定 性別判定	①死後変化について説明する。 ②個人識別の重要性について説明する。 ③歯科所見による身元確認について説明する。 ④災害時の歯科医師の活動について説明する。 ⑤災害時における医療救護について説明する。 ⑥救急時における医療救護について説明する。 ⑦トリアージについて説明する。

指導教員：佐藤慶太、勝村聖子

参考書：①「スタンダード社会歯科学（第4版）」 石井拓男 他 学建書院 ￥4,500
ISBN：978-4-7624-3644-4
②「臨床のための法医学（第6版）」 澤口彰子 他 朝倉書店 ￥5,900
ISBN：978-4-254-31091-7

総合歯科医学Ⅵ（口腔衛生・地域歯科保健）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
地域歯科 4/29 (月) 1,2限	本橋 純	口腔保健学序論	歯科疾患の予防概念 歯科保健戦略 う蝕の予防	1) 疾病の自然史	①口腔保健学の歴史を説明する。 ②疾病の自然史を説明できる。 ③Leavell&Clarkの予防概念と 歯科疾患予防を説明する。 ④ポピュレーションおよびハイ リスクストラテジーを説明す る。
				2) 予防戦略	
		う蝕の予防	A. う蝕の病因論	1) う蝕の発生要因 2) う蝕の予防方法 3) う蝕のリスク診 断	①う蝕の発生要因を説明する。 ②各要因に対する予防方法を説 明する。 ③う蝕のリスク診断法を説明す る。 ④代用甘味料の種類を説明する。
地域歯科 5/27 (月) 3,4限	本橋 純	う蝕の予防	A. う蝕の病因論	1) 自然界のフッ素	①自然界におけるフッ化物の分 布を説明する。 ②フッ化物の全身応用方法を説 明する。 ③フッ化物の局所応用方法を説 明する。 ④フッ化物の予防機序を説明す る。
				2) フッ化物の応用 方法	
		フッ化物の応用	A. フッ化物の応用 と予防機序	3) フッ化物の予防 機序 1) フッ化物の代謝 2) フッ化物による 中毒	①フッ化物の吸収と排泄を説明 する。 ②フッ化物の急性中毒とその処 置方法を説明する。 ③フッ化物の慢性中毒を説明す る。
地域歯科 5/27 (月) 3,4限	本橋 純	口腔環境と歯垢 清掃	A. プラークコン ロール	1) 物理的清掃	①物理的清掃の種類を説明する。 ②物理的清掃方法を説明する。 ③化学的清掃の種類を説明する。 ④歯磨剤の成分を説明する。 ⑤歯磨剤の薬効成分を説明する。
				2) 化学的清掃 3) 歯磨剤の機能	
		う蝕の予防	A. 予防填塞法 B. 予防効果の判定	1) 予防填塞法 2) う蝕抑制率	①予防填塞法（シーラント）の 種類を説明する。 ②予防填塞法の応用を説明する。 ③各う蝕予防方法の抑制率を説 明する。
地域歯科 5/27 (月) 3,4限	本橋 純	う蝕の予防	A. 予防填塞法 B. 予防効果の判定	1) 予防填塞法	①予防填塞法（シーラント）の 種類を説明する。 ②予防填塞法の応用を説明する。 ③各う蝕予防方法の抑制率を説 明する。
				2) う蝕抑制率	
		歯周疾患の予防	A. 歯周疾患のリス ク要因 B. 歯周疾患と全身 の健康	1) 歯周疾患の病因 2) リスクファクター 3) 予防方法 4) 全身の健康との 関連	①歯周疾患の病因を説明する。 ②歯周病のリスクファクターを 説明する。 ③歯周病の予防方法を説明する。 ④糖尿病との関連性を説明する。 ⑤全身疾患との関連性を説明す る。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
地域歯科 6/24 (月) 3,4限	本橋 純	歯科領域の疫学調査法	疫学概念と研究方法 A. 定義と目的 B. 研究方法 歯科疾患への応用	疫学要因 記述疫学、分析疫学、 介入研究 スクリーニング法 う蝕の疫学、歯周疾患の疫学	①疫学の目的と研究方法を説明する。 ②歯科領域への疫学の応用方法を説明する。 ③歯科疾患の疫学的特徴を説明する。
			歯科領域の疫学指標 A. 数量化と指数 B. う蝕の指標 C. 歯周疾患の指標 D. 口腔清掃の指標 E. その他の指標	検診法、指数 DMF、RID、ICDAS PMA、GI、PI、PDI、 GBcount、CPI OHI、OHI-S、PI-I、 PHP、PCR CFI、DAI	①歯科保健の調査方法を説明する。 ②歯科領域の疫学指標を説明する。
地域歯科 7/22 (月) 3,4限	本橋 純	母子歯科保健	A. 母子保健法 B. 乳幼児健康診査	妊産婦歯科保健、 1歳6か月歯科健康診査、 3歳児歯科健康診査	①母子歯科保健活動を説明する。 ②乳幼児の歯科保健管理方法を説明する。
		学校歯科保健	A. 学校保健の領域 B. 歯科保健活動	学校保健安全法、保健教育、保健管理、 学校歯科医、歯科健康診断	①学校歯科保健の意義を説明する。 ②学校歯科保健管理の方法を説明する。
地域歯科 9/10 (火) 1,2限	本橋 純	成人・高齢者歯科保健	A. 成人歯科保健対策 B. 高齢者歯科保健対策	保健状況、高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法、 8020運動	①高齢者の歯科保健の問題点を説明する。 ②成人歯科保健活動を説明する。
		産業歯科保健	A. 産業保健活動 B. 職業性歯科疾患	保健管理体制、 THP、歯牙酸蝕症	①産業歯科保健活動の推進を説明する。 ②職業に起因した歯科疾患を説明する。

指導教員：本橋 純

参考書：①「口腔保健・予防歯科学」安井利一 他 編 医歯薬出版 ￥10,000 (本体)
ISBN : 978-4-263-45802-0

総合歯科医学Ⅵ（衛生・探索歯学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
探索-1	花田信弘	6 疫学と調査	ア 疫学とその応用	a. 疫学の概念 b. 疫学指標 c. 統計解析 d. 因果関係の成立 e. 観察研究、介入研究 f. 臨床疫学	①疫学と根拠に基づいた医療<EBM>の概念を説明できる。 ②科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。
探索-2	花田信弘	6 疫学と調査	ア 疫学とその応用	g. 歯科集団検診	①スクリーニング検査を説明できる。
探索-3	花田信弘	6 疫学と調査	イ 指標と調査	b. 人口統計、保健統計	①主な保健統計（歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等）を説明できる。 ②主な健康指標（平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率等）を説明できる。 ③調査方法と統計的分析法を説明できる。
探索-4	花田信弘	2 社会と歯科医療	イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済	e. 保健・医療・福祉・介護の制度と職種 h. 国民医療費、社会保障費	①社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。
探索-5	花田信弘	4 予防と健康管理・増進	イ 地域保健にかかる法規と制度	a. 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律、医療法	①保健・医療施策を説明できる。
探索-6	花田信弘	4 予防と健康管理・増進	イ 地域保健にかかる法規と制度	b. 母子保健 c. 学校保健 d. 産業保健	①保健・医療施策を説明できる。
探索-7	花田信弘	4 予防と健康管理・増進	イ 地域保健にかかる法規と制度	e. 成人・高齢者保健	①保健・医療施策を説明できる。
探索-8	花田信弘	4 予防と健康管理・増進 5 国際保健	イ 地域保健にかかる法規と制度 ア 国際保健	f. 健康危機管理（精神保健・国際保健）	①保健、医療に関する精神疾患と国際的課題について理解し、説明できる。 ②日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ③医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
探索-9	花田信弘	8 国民栄養と食生活・食育指導	ア 国民栄養と食品保健 イ 食育と口腔保健	a. 国民栄養の現状 b. 食事摂取基準 c. 食生活指針 d. 食育基本法	①国民栄養と食生活について説明できる。
探索-10	花田信弘	7 感染症対策	ア 感染症対策と疫学	a. 感染症の疫学 b. 感染症の予防	①感染症について説明できる。
探索-11	花田信弘	9 環境保健	ア 環境保健対策	a. 環境要因と健康 b. 地球環境の変化、健康影響 c. 環境汚染、公害の発生要因、健康影響 d. 環境汚染の評価と対策 e. 廃棄物処理 f. 放射線と健康 g. 生活環境と健康	①地球環境の変化と対策、適応について説明する。 ②公害問題について説明する。 ③その他小項目にあげた基本事項を説明する。

指導教員：花田信弘、野村義明

参考書：歯科国試パーフェクトマスター「衛生学・公衆衛生学」 医歯薬出版

総合歯科医学Ⅵ（障害者歯科）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
障害者 歯科 1	小澤正明	必修の基本的事項 2 社会と歯科医療	ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題と背景	a 疾病・障害の概念・構造（社会的関わり） b QOL（生活の質、quality of life） c リハビリテーションの理念 d ノーマライゼーション、バリアフリー e 患者・障害者の心理と態度 f 国際生活機能分類（ICF）、国際障害分類（ICIDH） g 疾病構造、健康格差	①ノーマライゼーションが説明できる。 ②ICF、ICIDHが説明できる。
		12 治療の基礎・基本手技	イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療	a 治療環境 b 患者の体位 c コミュニケーション d チーム医療	
		歯科医学総論総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度	カ 障害児・障害者の保健・福祉	b 障害児・障害者の健康保持・増進 c 障害の種類と支援	
		総論Ⅴ 診察 障害者への対応	ア 障害の概念 イ 障害の分類	a 身体障害 b 知的障害 c 精神障害（発達障害を含む）	①身体障害を列举、説明できる。 ②発達障害を列举、説明できる。 ③精神障害を列举、説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
障害者 歯科 2	西村 康	総論Ⅴ 診察 障害者への対応	ウ 行動調整 エ 診察 オ 歯科治療上留意すべき事項 カ 健康支援、患者管理		①行動療法を説明できる。 ②体動コントロール法を説明できる。 ③鎮静法、全身麻酔の適応を理解する。
		総論Ⅶ 治療	オ 障害者の治療		
		各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療	ア 基本的対応	a 一般的対応 b 行動調整	
		7 障害者の歯科治療	イ 歯科治療上留意すべき事項 ウ 口腔疾患の治療 エ 口腔保健指導	a 環境への適応性 b 姿勢・異常反射 c 呼吸管理	

指導教員：小澤正明、西村 康

参考書：①スペシャルニーズ デンティストリー 障害者歯科 第2版

日本障害者歯科学会 編集 医歯薬出版株式会社 ￥9,500

ISBN978-4-263-45801-3 C3047

総合歯科医学Ⅵ（インプラント）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
インプラント 1	小久保裕司	インプラント義 歯による治療	インプラント材料 治療計画の立案 外科処置	上部構造の設計 診断用ステントの製 作 埋入計画の立案 インプラント埋入手 術 オッセオインテグ レーションの獲得 二次手術	①インプラント材料と骨の生体 反応について説明できる。 ②インプラント治療の流れを説 明できる。 ③他の補綴歯科治療法との違い について説明できる。 ④インプラント埋入手術の方 法について説明できる。 ⑤コンピューター支援手術につ いて説明できる。 ⑥2次手術について説明できる。
インプラント 2	積田光由	インプラント義 歯による治療	補綴処置	補綴装置の設計 補綴装置の印象採得 補綴装置の製作 補綴装置の装着	①補綴装置の種類と特徴につい て説明できる。 ②クローズドトレー法、オープ ントレー法について説明でき る。 ③補綴装置の製作方法について 説明できる。 ④補綴装置の装着方法について 説明できる。

指導教員：小久保裕司、積田光由

参考書：よくわかる口腔インプラント学 第3版

医歯薬出版株式会社 赤川安正ら 編 定価10,000円+税

ISBN978-4-263-45800-6 C3047

総合歯科医学Ⅵ（内科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
内科 1,2	松川吉博	必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技	ス 患者管理の基本	全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際には、医科との連携のもと適切な処置を取る。
内科 3,4	松川吉博	歯科医学総論Ⅴ 診察 6 全身疾患を有する者への対応	ア 留意すべき疾患	a 呼吸器疾患（肺炎、慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉、喘息など） b 循環器疾患（高血圧症、心疾患、脳血管疾患など） c 消化器疾患（肝疾患など） d 血液・造血器疾患 e 泌尿器・生殖器疾患（慢性腎不全など） f 精神・行動の障害（認知症、統合失調症など） g 神経・運動器疾患（Alzheimer型認知症、関節リウマチ、筋委縮性側索硬化症など） h 内分泌・代謝疾患（糖尿病、脂質異常症など） i 感染症（結核、ウイルス性肝炎など） j 悪性腫瘍	歯科治療時に遭遇する全身管理を必要とする全身疾患の診断・治療を理解する。必要に応じて適切に医科と連携をとる。
内科 5,6	松川吉博	歯科医学各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科治療 1 高齢者等の歯科診療で注意すべき疾患・病態・症候	ア 運動障害 イ 認知障害 ウ 摂食嚥下障害 エ 誤嚥性肺炎 オ フレイル カ その他	a 脳血管疾患 b 関節疾患 c 骨折 d 廃用症候群 e 神経・筋疾患 a 認知症 a 摂食行為・食物認知障害 b 咀嚼障害 c 嚥下障害 a 呼吸器疾患 b 胃食道逆流症	歯科治療時に遭遇する全身管理を必要とする全身疾患の診断・治療を理解する。必要に応じて適切に医科と連携をとる。

指導教員：松川吉博

参考書：

総合歯科医学Ⅵ（倫理・一般教養的事項）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標
倫理・教養 1	小林 馨	一般教養的事項	ア 医学史、歯科医学史	なし	①医学史、歯科医学史における主要な事項について列記できる。 ②医学史、歯科医学史における主要な事項の理由について説明できる。
倫理・教養 2	島田道子	一般教養的事項	ア 医学史・歯科医学史	歴史概観と事項整理	①一般教養の範囲での医学史一般の流れと重要な事項を整理し、説明できる。 ②上記と同様の範囲での医学史上重要人物とその業績を結びつけることができる。
倫理・教養 3	阿部道生	一般教養的事項	イ 医学医療に関する人文、社会科学、芸術などに関する一般教養的知識や考え方（人体の正常構造と機能）	a. ヒトの染色体と遺伝の基礎 b. 染色体異常と単一遺伝子病 c. 配偶子と受精 d. 細胞学の基礎 e. アポトーシス f. 環境汚染と地球温暖化	①染色体の形と性質およびその異常を説明できる。 ②メンデル遺伝の仕組みと遺伝子を説明できる。 ③配偶子を説明できる。 ④細胞・細胞小器官を説明できる。 ⑤セントラルドグマを説明できる。 ⑥細胞分裂を説明できる。 ⑦細胞死を説明できる。 ⑧大気汚染、水質汚染を説明できる。
倫理・教養 4	杉崎正志	1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム	ア 医の倫理、生命倫理 イ 歯科医療と患者家族との関係	a. 患者の人権と医療 b. 医療者の倫理 c. 患者中心の歯科医療 d. 患者の権利（自己決定権）	①患者の人権と医療 ②ニュルンベルグ綱領 ③ジュネーブ宣言 ④ヘルシンキ宣言 ⑤リスボン宣言 ⑥ヒポクラテスの誓い ⑦守秘義務 ⑧マドリッド宣言 ⑨プライバシーの尊重 ⑩法の遵守 ⑪患者中心医療 ⑫インフォームドコンセント、セカンドオピニオン ⑬患者の権利と義務 ⑭自己決定権 ⑮研究倫理、⑯個人情報、⑰パターンリズム

指導教員：小林 馨、島田道子、阿部道生、杉崎正志

参考書：①医学史・歯科医学史：「スタンダード歯科医学史」

石井拓男、渋谷敏、西巻明彦著 学建書院 ￥3,780

ISBN：978-4-7624-0671-3

※その他、授業時に適宜紹介する

②倫理：「新版医療倫理」

太陽出版 ￥2,600

ISBN：978-4-88469-769-3

③参考書としてプリントを配布します